

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年10月18日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-320800

出 願 人

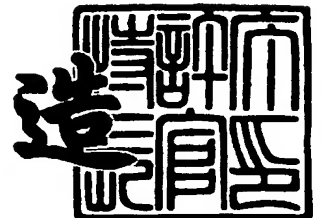
Applicant(s):

マツダ株式会社

2001年12月21日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3109799

【書類名】 特許願

【整理番号】 M20010864

【提出日】 平成13年10月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明の名称】 見積価格提供装置、見積価格提供システム、見積価格提供方法、並びにコンピュータ・プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【請求項の数】 22

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

 【氏名】 高岡 啓喜

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

 【氏名】 遊上 孝司

【特許出願人】

 【識別番号】 000003137

 【氏名又は名称】 マツダ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100076428

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大塚 康德

 【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

 【識別番号】 100112508

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 高柳 司郎

 【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100115071

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康弘

【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100116894

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 秀二

【電話番号】 03-5276-3241

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2001- 14545

【出願日】 平成13年 1月23日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003458

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0102284

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 見積価格提供装置、見積価格提供システム、見積価格提供方法、並びにコンピュータ・プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メーカーが供給可能な商品仕様に関して予め設定された所定の選択肢に従って、販売代理店が販売可能な見積価格が該選択肢毎に予め登録されている記憶装置と、

通信回線を介して双方向通信可能に接続された情報端末からの操作により、前記所定の選択肢に従って該情報端末のユーザが所望仕様の商品を選定可能な仕様選定手段と、

前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定されたとき、或いはその後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われたときに、前記記憶装置に登録されている前記所定の選択肢毎の見積価格を該所望仕様に従って参照することにより、該所望仕様の商品を前記販売代理店が販売する場合の見積価格を算出すると共に、算出した商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供する見積価格提供手段と、

を備えることを特徴とする見積価格提供装置。

【請求項 2】 前記見積価格提供手段は、前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定された後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われるのに応じて、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、電子メールによって前記情報端末に提供する

ことを特徴とする請求項 1 記載の見積価格提供装置。

【請求項 3】 前記記憶装置には、複数の販売代理店に対して、少なくとも個別の記憶領域が予め用意されており、

前記仕様選定手段は、前記複数の販売代理店のうち、前記情報端末のユーザが所望する販売代理店を選択可能な販売代理店選択手段を含み、

前記見積価格提供手段は、前記販売代理店選定手段において選択された販売代理店に対応するところの、前記記憶装置の記憶領域を参照することにより、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供する

ことを特徴とする請求項 1 記載の見積価格提供装置。

【請求項 4】 前記記憶装置は、前記複数の販売代理店とは異なる第三者によって運営されており、

前記記憶装置の個々の記憶領域に記憶された前記販売代理店毎の記憶内容を、個々の記憶領域に対応する販売代理店が更新可能な見積価格更新手段を更に備え

前記見積価格提供手段は、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供するに際して、前記販売代理店選定手段において選択された販売代理店に対応するところの、前記記憶装置の記憶領域を参照可能である

ことを特徴とする請求項 3 記載の見積価格提供装置。

【請求項 5】 前記記憶装置、前記仕様選定手段、前記販売代理店選定手段、並びに前記見積価格提供手段は、単一の情報処理装置における処理機能によって実現される

ことを特徴とする請求項 3 記載の見積価格提供装置。

【請求項 6】 前記仕様選定手段は、前記情報端末のユーザが所望仕様の商品を選定する過程において、前記メーカーによって前記所定の選択肢毎に予め登録されているメーカー希望小売価格を報知する一方で、

前記見積価格提供手段は、前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定された後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われるのに応じて、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供する

ことを特徴とする請求項 4 または請求項 5 記載の見積価格提供装置。

【請求項 7】 前記見積価格提供手段は、前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定された後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われるのに応じて、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記販売代理店を特定するアドレスが発信元に設定された電子メールにより、前記情報端末に提供する

ことを特徴とする請求項 4 乃至請求項 6 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 8】 前記見積価格提供手段は、前記情報端末におけるユーザの照会要求に応じて、そのユーザに対して過去に提供された前記商品単位の全ての見積価格を、前記情報端末にて一覧表示可能に提供する

ことを特徴とする請求項 1、請求項 3、請求項 5 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 9】 前記見積価格提供手段は、前記所望仕様の商品単位の見積価格を前記情報端末に提供する過程において、前記情報端末のユーザから、下取商品の見積を要求された場合に、その下取商品の見積要求を、前記販売代理店選定手段において選択された販売代理店に対して転送する

ことを特徴とする請求項 3 または請求項 5 記載の見積価格提供装置。

【請求項 10】 前記記憶装置において前記複数の販売代理店に個別に用意された記憶領域に対して、何れかの記憶領域に対応する販売代理店から要求された場合に、その要求に応じて、該記憶領域の記憶内容の更新を許容する一方で、該記憶領域に対応しない他の販売代理店による該記憶領域の記憶内容の更新は拒絶する見積価格更新手段を更に備える

ことを特徴とする請求項 3 乃至請求項 5 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 11】 前記見積価格更新手段は、前記記憶装置において前記複数の販売代理店に個別に用意された記憶領域に対して、何れかの記憶領域に対応する販売代理店から要求された場合に、その要求に応じて、該記憶領域の記憶内容の閲覧を許容する一方で、該記憶領域に対応しない他の販売代理店による該記憶領域の記憶内容の閲覧は拒絶する

ことを特徴とする請求項 10 記載の見積価格提供装置。

【請求項 12】 前記見積価格更新手段は、前記記憶装置において前記複数の販売代理店に個別に用意された記憶領域の、前記メーカーによる更新を拒絶する

ことを特徴とする請求項 3 乃至請求項 5 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 13】 前記商品は自動車であって、

予め設定された前記所定の選択肢には、前記情報端末のユーザによる所望仕様の自動車の選定が前記仕様選定手段によって行われるに際して、その第 1 段階として、該自動車の動力性能を決定する基幹部分の仕様選択が行われるように制約が設けられており、且つその後の段階においても、該第 1 段階において選定された仕様が最優先されるように制約が設けられている

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 1 2 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 1 4】 前記仕様選定手段では、前記第 1 段階として、前記メーカーにおいて生産可能な自動車の基幹部分をなす駆動系の部材選定と、選定された駆動系の部材に対して予め登録されている車輪周辺部材の選定とが順に行われることを特徴とする請求項 1 3 記載の見積価格提供装置。

【請求項 1 5】 前記記憶装置、前記仕様選定手段、並びに前記見積価格提供手段の少なくとも何れかは、前記メーカーによって運営されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 1 4 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 1 6】 前記記憶装置、前記仕様選定手段、並びに前記見積価格提供手段は、前記メーカーによって運営されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 1 4 の何れかに記載の見積価格提供装置。

【請求項 1 7】 通信回線を介して双方向通信可能な、見積価格提供装置とユーザが所有する情報端末とからなる見積価格提供システムであって、

前記見積価格提供装置は、

前記情報端末からの操作により、メーカーが供給可能な商品仕様に関して予め設定された所定の選択肢に従って該情報端末のユーザが所望仕様の商品を選定可能な仕様選定手段と、

前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定されたとき、或いはその後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われたときに、販売代理店が販売可能な見積価格が前記選択肢毎に予め登録されている記憶装置を該所望仕様に従って参照することにより、該所望仕様の商品を前記販売代理店が販売する場合の見積価格を算出すると共に、算出した商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供する見積価格提供手段とを備え、

前記情報端末は、

前記仕様選定手段の動作に応じたマンマシンインターフェースを前記ユーザに対して提供すると共に、前記見積価格提供手段から提供される前記商品単位の見積価格を報知する制御手段を備える

ことを特徴とする見積価格提供システム。

【請求項 1 8】 前記記憶装置、前記仕様選定手段、並びに前記見積価格提

供手段の少なくとも何れかは、前記メーカによって運営されることを特徴とする請求項 1 7 記載の見積価格提供システム。

【請求項 1 9】 通信回線を介して双方向通信可能な、見積価格提供装置とユーザが所有する情報端末とを利用した見積価格提供方法であって、

前記情報端末から前記見積価格提供装置にアクセスすると共に、前記情報端末からの操作により、メーカが供給可能な商品仕様に関して予め設定された所定の選択肢に従って該情報端末のユーザが所望仕様の商品を選定する仕様選定工程と

前記仕様選定工程にて所望仕様の商品が選定されたとき、或いはその後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われたときに、販売代理店が販売可能な見積価格が前記選択肢毎に予め登録されている記憶装置を該所望仕様に従って参照することにより、該所望仕様の商品を前記販売代理店が販売する場合の見積価格を算出すると共に、算出した商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供する見積価格提供工程と、

を有することを特徴とする見積価格提供方法。

【請求項 2 0】 請求項 1 乃至請求項 1 6 の何れかに記載の見積価格提供装置としてコンピュータを動作させる指示をなすことを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【請求項 2 1】 請求項 1 9 記載の見積価格提供方法を、コンピュータによって実現可能な動作指示をなすことを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【請求項 2 2】 請求項 1 乃至請求項 1 6 の何れかに記載の見積価格提供装置としてコンピュータを動作させるプログラムコードが格納されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信回線を介してオンラインで、商品に関する価格情報をユーザが所有する情報端末に提供する価格情報提供装置の分野に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来より、商品に関する価格情報をユーザに提供する情報提供装置として、例えば、特開平 5 - 2 7 4 3 2 6 号公報に開示されているように、販売対象である商品のカタログ情報をマルチメディア情報の形態でデータベースに蓄積しておき、計算機システム上で特定化した商品に関する情報を前記データベースから読み出して、外部出力、見積、納期間合せ、受注処理等を行なえるようにしたものが知られている。

【0003】

また、代表的な車両である自動車の分野においては、通信回線を介してオンラインで、車両に関する情報をユーザが所有する情報端末に提供する技術が提案されており、このような技術の一例として、例えば特開平 7 - 1 9 9 8 2 0 号公報には、オンラインで自動車の仮想展示を行う技術が提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記特開平 7 - 1 9 9 8 2 0 号公報においては、ユーザが所望する個別仕様の商品の価格、並びにその商品の販売に先立って提示される見積価格を、オンラインで当該ユーザに知らせることはできない。

【0005】

また、特開平 5 - 2 7 4 3 2 6 号公報においては、見積の処理をオンラインで行なうための具体的な方法が示されておらず、単に、「従来の販売業務システムで用いられている方法を利用する。」と記載されているのみであるから、見積価格をオンラインでユーザに提示することは開示されていない。

【0006】

そこで本発明は、メーカーが供給可能な商品仕様の中から、ユーザが所望仕様の商品を容易且つ楽しく選定可能にすると共に、選定された所望仕様の商品の見積価格を、当該ユーザに効率的に提供する見積価格提供装置、見積価格提供システム、見積価格提供方法、並びにコンピュータ・プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体の提供を目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、本発明に係る見積価格提供装置は、以下の構成を特徴とする。

【0008】

即ち、メーカーが供給可能な商品仕様に関して予め設定された所定の選択肢に従って、販売代理店が販売可能な見積価格が該選択肢毎に予め登録されている記憶装置と、

通信回線を介して双方向通信可能に接続された情報端末からの操作により、前記所定の選択肢に従って該情報端末のユーザが所望仕様の商品を選定可能な仕様選定手段と、

前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定されたとき、或いはその後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われたときに、前記記憶装置に登録されている前記所定の選択肢毎の見積価格を該所望仕様に従って参照することにより、該所望仕様の商品を前記販売代理店が販売する場合の見積価格を算出すると共に、算出した商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供する見積価格提供手段とを備えることを特徴とする。

【0009】

好適な実施形態において、前記見積価格提供手段は、前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定された後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われるのに応じて、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、電子メールによって前記情報端末に提供すると良い。

【0010】

好適な実施形態において、前記記憶装置には、複数の販売代理店に対して、少なくとも個別の記憶領域が予め用意されており、

前記仕様選定手段は、前記複数の販売代理店のうち、前記情報端末のユーザが所望する販売代理店を選択可能な販売代理店選択手段を含み、

前記見積価格提供手段は、前記販売代理店選定手段において選択された販売代理店に対応するところの、前記記憶装置の記憶領域を参照することにより、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供すると良い。

【0011】

また、例えば前記記憶装置が、前記複数の販売代理店とは異なる第三者によって運営されている場合には、

前記記憶装置の個々の記憶領域に記憶された前記販売代理店毎の記憶内容を、個々の記憶領域に対応する販売代理店が更新可能な見積価格更新手段を更に備え

前記見積価格提供手段は、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供するに際して、前記販売代理店選定手段において選択された販売代理店に対応するところの、前記記憶装置の記憶領域を参照可能に構成すると良い。

【0012】

また、好適な実施形態において、前記記憶装置、前記仕様選定手段、前記販売代理店選定手段、並びに前記見積価格提供手段は、単一の情報処理装置における処理機能によって実現されると良い。

【0013】

また、例えば前記仕様選定手段は、前記情報端末のユーザが所望仕様の商品を選定する過程において、前記メーカーによって前記所定の選択肢毎に予め登録されているメーカー希望小売価格を報知する一方で、

前記見積価格提供手段は、前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定された後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われるのに応じて、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記情報端末に提供すると良い。

【0014】

また、例えば前記見積価格提供手段は、前記仕様選定手段によって所望仕様の商品が選定された後、前記情報端末におけるユーザの要求操作が行われるのに応じて、前記所望仕様の商品単位の見積価格を、前記販売代理店を特定するアドレスが発信元に設定された電子メールにより、前記情報端末に提供すると良い。

【0015】

また、例えば前記見積価格提供手段は、前記情報端末におけるユーザの照会要求に応じて、そのユーザに対して過去に提供された前記商品単位の全ての見積価格を、前記情報端末にて一覧表示可能に提供すると良い。

【0016】

また、例えば前記見積価格提供手段は、前記所望仕様の商品単位の見積価格を前記情報端末に提供する過程において、前記情報端末のユーザから、下取商品の見積を要求された場合に、その下取商品の見積要求を、前記販売代理店選定手段において選択された販売代理店に対して転送すると良い。

【0017】

また、例えば、前記記憶装置において前記複数の販売代理店に個別に用意された記憶領域に対して、何れかの記憶領域に対応する販売代理店から要求された場合に、その要求に応じて、該記憶領域の記憶内容の更新を許容する一方で、該記憶領域に対応しない他の販売代理店による該記憶領域の記憶内容の更新は拒絶する見積価格更新手段を更に備えると良い。

【0018】

また、例えば前記見積価格更新手段は、前記記憶装置において前記複数の販売代理店に個別に用意された記憶領域に対して、何れかの記憶領域に対応する販売代理店から要求された場合に、その要求に応じて、該記憶領域の記憶内容の閲覧を許容する一方で、該記憶領域に対応しない他の販売代理店による該記憶領域の記憶内容の閲覧は拒絶すると良い。

【0019】

また、例えば前記見積価格更新手段は、前記記憶装置において前記複数の販売代理店に個別に用意された記憶領域の、前記メーカーによる更新を拒絶すると良い。

【0020】

尚、上記何れの装置構成においても、例えば、前記商品は自動車であって、予め設定された前記所定の選択肢には、前記情報端末のユーザによる所望仕様の自動車の選定が前記仕様選定手段によって行われるに際して、その第1段階として、該自動車の動力性能を決定する基幹部分の仕様選択が行われるように制約が設けられており、且つその後の段階においても、該第1段階において選定された仕様が最優先されるように制約が設けられていると良い。

【0021】

この場合、前記仕様選定手段では、前記第 1 段階として、前記メーカーにおいて生産可能な自動車の基幹部分をなす駆動系の部材選定と、選定された駆動系の部材に対して予め登録されている車輪周辺部材の選定とが順に行われるのが好ましい。

【 0 0 2 2 】

また、上記何れの装置構成の見積価格提供装置を実現する場合においても、前記記憶装置、前記仕様選定手段、並びに前記見積価格提供手段の全て、或いは何れかが、前記メーカーによって運営されていると良い。

【 0 0 2 3 】

尚、上記の目的は、前記見積価格提供装置をコンピュータによって実現するプログラムコード、及びそのプログラムコードが格納されているコンピュータ読み取り可能な記憶媒体、前記見積価格提供装置と情報端末とからなる見積価格提供システム、並びに当該システムに対応する見積価格提供方法によっても達成される。

【 0 0 2 4 】

【発明の効果】

上記の本発明によれば、メーカーが供給可能な商品仕様の中から、ユーザーが所望仕様の商品を容易且つ楽しく選定可能にすると共に、選定された所望仕様の商品の見積価格を、当該ユーザーに効率的に提供する見積価格提供装置、見積価格提供システム、見積価格提供方法、並びにコンピュータ読み取り可能な記憶媒体の提供が実現する。

【 0 0 2 5 】

即ち、請求項 1、請求項 1 7、請求項 1 9 の発明によれば、メーカーが供給可能な商品仕様の中から、ユーザーが所望仕様の商品をゲーム感覚で容易且つ楽しく選定できると共に、選定された所望仕様の商品の見積価格を、例えば電子メール（請求項 2）によって人手を介さずに当該ユーザーに効率的に提供することができ、当該商品の提供価格の低減にも寄与する。

【 0 0 2 6 】

また、請求項 3 の発明によれば、ユーザー所望の販売代理店をユーザー自身が選択

できるので、利便性を向上することができる。

【 0 0 2 7 】

また、請求項 4 及び請求項 5 の発明によれば、販売代理店側に特別なハードウェア及びソフトウェアを予め用意すること無く、請求項 3 に係る発明の実施を、最小限の時間とコストで開始することができ、更に、運用開始後のシステム管理も容易である。

【 0 0 2 8 】

また、請求項 6 の発明によれば、所望仕様の商品を選定する際の購入価格の目安をユーザに提示することができ、ユーザの利便性が向上する。

【 0 0 2 9 】

また、請求項 7 の発明によれば、販売代理店が提供可能な見積価格を、ユーザに対して効率良くアピールすることができる。

【 0 0 3 0 】

また、請求項 8 の発明によれば、例えば、同一仕様の個別仕様車の購入を検討しているユーザが、複数の販売代理店に見積を要求した場合には、個々の販売代理店が提供可能な見積価格が一覧表示されるので、ユーザの利便性が向上する。

【 0 0 3 1 】

また、請求項 9 の発明によれば、ユーザの利便性が向上すると共に、販売代理店の業務の効率化を図ることができる。

【 0 0 3 2 】

また、請求項 1 0 乃至請求項 1 2 の発明によれば、販売代理店が独自に設定する見積金額が、第三者によって干渉されることを防止することができ、各販売代理店による販売業務の自主性を担保すると共に、市場の自由競争の原理を尊重できる。

【 0 0 3 3 】

また、請求項 1 3 の発明によれば、予め取得した型式認定に基づいてメーカーが生産可能な自動車の選択肢の中から、例えば駆動系の部材選定と、選定された駆動系の部材に対して予め登録されている車輪周辺部材の選定とを第 1 段階において行わせることにより（請求項 1 4）、ユーザ自身が個別仕様の自動車として所

望仕様の自動車を効率良く選定することができる。

【0034】

また、請求項15の発明によれば、販売代理店の業務及びコスト面での負担を軽減することができる。

【0035】

また、請求項16の発明によれば、販売代理店側に特別なハードウェア及びソフトウェアを予め用意する必要が無いので、各請求項に係る発明の実施を、最小限の時間とコストで開始することができ、更に、運用開始後のシステム管理も容易である。

【0036】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を、代表的な車両である自動車の個別仕様車（特定車両）についての見積・発注システムに適用した実施形態として、図面を参照して詳細に説明する。

【0037】

本実施形態において、個別仕様車とは、本システムを利用して、所定の仕様・装備を備える標準仕様車（ベース仕様車）を基本として、所定の複数項目についてユーザ（顧客）自身によって所望の仕様選定がなされた車両である。即ち、本実施形態に係るシステムは、所定の仕様・装備を備える標準仕様車（ベース仕様車）を基本として、予め設定した複数の項目についてユーザ（顧客）自身によって所望の仕様選定がなされるようにした自動車の見積・発注システムであり、以下、このようにして仕様選定がなされた車両を、個別仕様車というものとする。

【0038】

【ハードウェアの全体構成】

図1は、本実施形態における個別仕様車見積・発注システムの全体構成を示す概念図である。

【0039】

同図において、1は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムによって仕様選定及び発注が行われた個別仕様車を生産する自動車メーカーのためのサー

パソコンコンピュータであり、主に、ユーザ端末5に対するアプリケーション・サーバとして機能する。このサーバコンピュータは、当該自動車メーカーに存在する場合も、或いは当該自動車メーカーのためにその外部において他の運用者によって運営される場合も想定される（以下、本実施形態では、車両メーカー側サーバと称する）。

【0040】

車両メーカー側サーバ1は、その動作中に必要に応じて、一般的な手法により、メーカー希望小売価格データベース（DB）31と、進捗管理DB32とにアクセスすることができる。メーカー希望小売価格DB31には、自動車メーカーが希望する小売価格（以下、メーカー希望小売価格）が、本システムにおいて個別仕様車として選定可能な仕様項目毎に、個々の仕様項目を特定する識別情報に関連付けされた状態で予め格納されている（進捗管理DB32については後述する）。

【0041】

2は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムを利用して仕様が決定された自動車を実際に販売すべく、その自動車の見積価格を決定するサーバコンピュータであり、当該自動車メーカーに存在する場合、当該自動車メーカーの自動車を販売する販売代理店に存在する場合、或いは当該販売代理店のために外部において他の運用者によって運営される場合等が想定される（以下、本実施形態では、販売代理店側サーバと称する）。

【0042】

販売代理店側サーバ2は、その動作中に必要に応じて、一般的な手法により、メーカー希望小売価格DB31にアクセスすることができ、これにより、メーカー希望小売価格DB31に仕様項目毎の識別情報と共に予め格納されている当該仕様項目毎のメーカー希望小売価格を、見積価格DB35の内部に取得することができる。

【0043】

販売代理店側サーバ2のユーザは、見積価格DB35の内部に取得した当該仕様項目毎のメーカー希望小売価格を参照しながら、それら各仕様項目を当該販売代理店が販売する場合に各ユーザに対して自動的に提示する見積価格を、当該仕様

項目毎に見積価格DB35に設定する。尚、販売代理店側サーバ2の動作については、図20を参照して後述する。

【0044】

ここで、販売代理店側サーバ2のユーザにとって、自動車メーカーが設定した膨大な仕様項目毎に、当該サーバに対して見積価格を設定するのは現実的には困難であるので、好適な実施形態においては、販売代理店側サーバ2のユーザが選択した複数の仕様項目に関して、それら各仕様項目のメーカー希望小売価格に対して割り引く割合(%)が入力されるのに応じて、それら各仕様項目について割引された見積価格が自動的に設定されるように構成すると良い。

【0045】

また、本実施形態において、複数の販売代理店が存在する場合、ある1つの販売代理店は、自身が管理する見積価格DB35にアクセスし、登録されている内容を参照・変更することは可能であるが、各販売代理店による販売業務の自主性及び独立性を担保すべく、現在では一般的なセキュリティ機能により、他の販売代理店が管理する見積価格DB35の内容を参照・変更することはできないように構成されている。

【0046】

本実施形態において、販売代理店に設けられた見積価格DB35内に設定された仕様項目毎の見積価格は、販売代理店の販売業務及び見積価格に影響を及ぼさないように(即ち、販売代理店の販売業務の独立性を担保すべく)、車両メーカー側サーバ1からは参照・変更することはできない。

【0047】

また、車両メーカー側サーバ1に接続された記憶装置(データベース)の内部等のように、当該自動車メーカーに見積価格DB35を設ける場合であっても、同様に各販売代理店による販売業務の独立性を担保すべく、当該自動車メーカーは、見積価格DB35の見積価格は参照・変更することはできないように構成される。但し、個別仕様が確定した車両に対して車両メーカー側サーバ1にて見積価格を算出する場合には、見積価格DB35の内容の参照だけは可能にする必要がある。尚、自動車メーカーに見積価格DB35を設け、車両メーカー側サーバ1にて見積価

格を算出する場合については、図36及び図37を参照して後述する。

【0048】

即ち、販売代理店においては、一般に、車両メーカ、各種デコレーションパーツやオーディオ製品等のブランドメーカ等から商品を仕入れ、仕入れた商品に販売価格（所謂、再販価格）を設定して顧客に販売するが、販売に際して、商品の販売価格が仕入先のメーカによって干渉されることは、市場の自由競争の原理に反する。これと同様に、顧客に対して個別仕様車1台当たりの見積価格を提示するに際して、その見積価格が車両メーカによって干渉されること、並びに、係る個別仕様車1台当たりの見積価格を算出するための基礎となる見積価格DB35に記憶された仕様項目毎の見積価格が、車両メーカによって干渉されることは、市場の自由競争の原理に反する。

【0049】

そこで、本実施形態において、販売代理店毎に用意された見積価格DB35（または記憶領域）に記憶されている見積価格は、対応する販売代理店側サーバ2によってのみ変更・更新することができ、他の販売代理店による参照（閲覧）・変更、並びに車両メーカ側サーバ1単独での参照（閲覧）・変更は行なえないように構成している。そして、係る見積価格DB35についての構成は、見積価格DB35が車両メーカ側サーバ1の内部または外部の何れに存在する場合にも満足される。

【0050】

上述したシステム構成を採用すれば、販売代理店側には、特別なハードウェア及びソフトウェアを予め用意すること無く、本システムの実施を、最小限の時間とコストで開始することができ、更に、運用開始後のシステム管理も容易である。

【0051】

3は、代表的な通信回線であるインターネットである。5は、パーソナルコンピュータ、携帯情報端末、或いは携帯電話等のユーザ端末である。

【0052】

11は、当該自動車メーカから出荷された個別仕様車を搬送する搬送車両であ

る。搬送車両（本実施形態では船舶や鉄道等の輸送機関を含むものとする）11には、搬送車両11の現在位置を検出すると共に、検出した現在位置を外部に送出するGPS通信モジュール12が搭載されている。

【0053】

13は、当該自動車メーカーにおいて少なくとも個別仕様車が生産される組立ライン（生産ライン）であり、個別仕様車の組み立て状況は、組立ライン13の近傍に設けられたビデオカメラやデジタルカメラ等の撮影装置14によって撮影され、撮影されたビデオ画像または写真画像は、進捗管理DB32に格納される（詳細は後述する）。

【0054】

そして、上記の構成において、ユーザ端末5、車両メーカー側サーバ1、販売代理店側サーバ2は、後述する個別車両の見積・発注に関する情報を送受信すべく、インターネット3を介して、一般的な通信手法に従って、双方向通信を行うことができる。このとき、ユーザ端末5がパーソナルコンピュータである場合には、プロバイダ（インターネットプロバイダ）4を介して電話回線等も使用される。また、ユーザ端末5が携帯情報端末や携帯電話である場合には、基地局8を介して公衆無線電話回線等も使用される。これらの通信手段自体には一般的な構成を採用するものとし、本実施形態における詳細な説明は省略する。

【0055】

また、GPS通信モジュール12によって検出された搬送車両11の現在位置は、通信衛星11及び基地局9を介してインターネット3上を伝送され、その後、車両メーカー側サーバ1によって進捗管理DB32に格納されが、この場合も、通信手段自体には一般的な構成を採用するものとし、本実施形態における詳細な説明は省略する。

【0056】

図2は、本実施形態における車両メーカー側サーバ1、販売代理店側サーバ2、及びユーザ端末5の内部構成を例示するブロック図である。

【0057】

図中、22は、液晶表示器等のディスプレイ、23は入力手段であるキーボー

ドである。24は、ブートプログラム等を記憶しているROMである。25は、各種処理結果を一時記憶するRAMである。26は、プログラム等を記憶するハードディスクドライブ（HDD）等の記憶装置である。27は、外部の装置と通信回線30（本実施形態ではインターネット3等）を介して通信するための通信インタフェースであり、ユーザ端末5がコンピュータの場合はモデムやTAであり、ユーザ端末5が携帯情報端末や携帯電話である場合には無線送受信機である。そして28は、マウス等のポインティング・デバイスである。これらの各構成は、内部バス29を介して接続されており、CPU（中央演算処理装置）21は記憶装置26に記憶したプログラムに従って装置全体を制御する。本実施形態において、ディスプレイ22、キーボード23、並びにポインティング・デバイス28は、後述する各表示画面において、ユーザに対して所謂マン・マシンインタフェースを提供する。

【0058】

本実施形態において、車両メーカー側サーバ1、販売代理店側サーバ2、並びにユーザ端末5は、インターネット通信を行うことが可能な一般的な通信プロトコルのソフトウェア（ソフトウェアプログラム）、並びに、そのソフトウェアに従ってインターネット3を介してデータを送受信するインターネットブラウザ機能及びメール機能、並びにブラウザを描画する一般的なソフトウェアを有する。

【0059】

そして、上記の各ソフトウェアがCPU21によって適宜実行されることにより、車両メーカー側サーバ1とユーザ端末5とは、ユーザ端末5がインターネット3を介して車両メーカー側サーバ1に接続された（ログインした）状態において、所謂サーバ・クライアント環境を形成する。

【0060】

【個別仕様車見積・発注システムの機能体系】

図3は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムにおいて実行される処理モジュールの機能体系を示す図であり、同図に示す各ブロックは、車両メーカー側サーバ1のCPU21が実行するところの、後述する機能毎に大別したソフトウェア（ソフトウェアプログラム）の一単位であり、本実施形態では、この機

能単位を、処理モジュールと称する。これらの処理モジュールは、車両メーカー側サーバ1の記憶装置26等に予め格納されている。

【0061】

ここで、各処理モジュールの機能について概説する。

【0062】

・イニシャル処理（M1）：個別仕様車見積・発注システムのトップ画面（ホームページ）をユーザ端末5に表示すると共に、個別仕様車の仕様選定や見積依頼等を行うための他の画面への遷移が可能である。

【0063】

・車両仕様選定処理（M2）：ユーザ端末5のユーザ（顧客）が、購入を検討している車種の自動車について予め用意された選択肢の中から所望の仕様を選定する操作を繰り返すことにより、ユーザ端末5に対して、所望の個別仕様車の選定可能な環境を提供する。更に、個別仕様車の仕様が確定した場合には、見積・査定依頼処理（M3）への遷移が可能である。

【0064】

・見積・査定依頼処理（M3）：個別仕様車の仕様が確定したユーザが希望する場合、販売代理店に対して、その個別仕様車の販売価格の見積や下取車両の査定依頼を依頼可能な環境を提供すると共に、指定された販売代理店には、その旨を報知する。

【0065】

・見積事項確認処理（M4）：ユーザ端末5のユーザが、所望の仕様が確定した個別仕様車に対して既に見積価格を提示した顧客である場合に、そのユーザに対して、現在までの見積価格の経緯や仕様一覧等の情報を提供すると共に、そのユーザが当該個別仕様車をローンで購入する場合のクレジット審査や実際に発注するための商談申込み等を行うための他の画面への遷移が可能である。

【0066】

・クレジット審査処理（M5）：仕様が確定した個別仕様車を購入するに際してユーザ（顧客）がローンで購入することを希望する場合、当該ユーザが入力した条件に基づくクレジット審査を、信販会社に対して依頼する。

【0067】

・商談申し込み処理（M6）：仕様が確定した個別仕様車について実際の購入に向けた商談をユーザ（顧客）が希望する場合、その旨を販売代理店に報知する。

【0068】

・納期照会処理（M7）：個別仕様車を発注したユーザ（顧客）に対して、その個別仕様車を実際に納車できるまでの状況及び納期を報知する。

【0069】

・インストラクション処理（M8）：本個別仕様車見積・発注システムの利用方法や各機能の説明等がユーザ（顧客）に対して提供される。

【0070】

本実施形態において説明する個別仕様車見積・発注システムによれば、上記の処理モジュール群（図16乃至図21に示すフローチャートを参照して後述する）が車両メーカー側サーバ1にて実行されると共に、ユーザ端末5のディスプレイ22に各種画面を表示させるための基本となるソフトウェアとして、ユーザ端末5において図15に示すフローチャートのソフトウェアが実行されることにより、ユーザ端末5のディスプレイ22には、図4乃至図8（図22乃至図35）に示す各種画面の表示等によるマン・マシンインタフェースが提供される。係るマン・マシンインタフェースを利用して、ユーザ端末5のユーザ（顧客）は、所望する個別仕様車についての仕様選定、見積、発注等を行うことができる。

【0071】

【ユーザ端末5にて実行されるソフトウェア】

ここで、ユーザ端末5のCPU21が実行するところの、各種画面を表示するためのソフトウェアについて説明する。

【0072】

図15は、本実施形態において、車両メーカー側サーバ1のサービスを受けるユーザ端末5が実行するソフトウェアのフローチャートである。

【0073】

ユーザ端末5の記憶装置26には、前述したように予めブラウザプログラムが

格納されており、ユーザは、まず、車両メーカー側サーバ1のCPU21が実行可能な個別仕様車見積・発注システムにクライアントとして自端末をリンクさせるべく、当該ブラウザプログラムを所定の手順で起動する（即ち、記憶装置26内のブラウザプログラムをRAM25に読み込み、その読み込んだプログラムをCPU21により実行する）と共に、起動したブラウザの所定のエリアに所定のURLを入力する。その後、個別仕様車見積・発注システムへのリンクがインターネット3を介して行われると、ユーザ端末5のCPU21は、以下のステップS1以降の処理を開始する。

【0074】

図15において、ステップS1：リンク先のサイト（車両メーカー側サーバ1）よりホームページ（HP）の表示画面データ等を、通信インタフェース27を介してRAM25に受信する。本実施形態では、Webページの記述言語の一例として、一般的なHTML(Hyper Text Markup Language)を採用している。

【0075】

ステップS2：車両メーカー側サーバ1より受信した表示画面データ、その表示画面に埋め込むデータ等に応じて、ディスプレイ22に画面を表示する。

【0076】

ステップS3：キーボード23からの数値等のキー入力及び／またはポインティングデバイス28によるポインティング操作が行われたか否かを検出する。

【0077】

ステップS4：ステップS3でYES（入力操作を検出）のときには、ディスプレイ22に表示している画面に対する所定の入力項目のデータ及び／またはポインティング操作に応じたデータを、通信インタフェース27を介して車両メーカー側サーバ1に送信する。

【0078】

ステップS5：ブラウザの終了指示を表わす所定の入力操作が行なわれたか否かを判断し、その判断結果がNO（終了指示なし）のときにはステップS2に戻る。一方、ステップS8の判断結果がYES（終了指示あり）のときにはブラウザプログラムの実行を終了し、そのプログラムが駐在していたRAM25の領域

を開放する。

【 0 0 7 9 】

【車両メーカー側サーバ1にて実行されるソフトウェア】

次に、車両メーカー側サーバ1のCPU21により実行されるソフトウェアについて説明する。以下の説明では、まず、上述した各処理モジュールに共通の画面表示処理を図16に示すフローチャートを参照して説明し、次に、図17に示すフローチャートを参照しながら、各処理モジュール間における状態遷移について説明する。更に、図4乃至図8を参照しながら、各処理モジュールにおける表示画面の遷移について説明する。

【 0 0 8 0 】

(1) 各処理モジュールに共通のウィンドウ画面表示処理

図16は、本実施形態において車両メーカー側サーバ1が実行する各処理モジュールに共通のウィンドウ画面表示処理を示すフローチャートであり、車両メーカー側サーバ1にログインしているユーザ端末5のディスプレイ22に、ユーザの入力操作に応じたウィンドウ画面を表示するために行われる処理である。この処理は、後述する各表示画面において、ユーザ端末5のユーザの所定の操作によって使用する機能が変更されるのに応じて、車両メーカー側サーバ1のCPU21により開始される。

【 0 0 8 1 】

図16において、ステップS31：ユーザ端末5に表示すべきトップ画面（即ち、所定の操作により指定された機能に対応するトップ画面）内に必要な項目のデータを、車両メーカー側サーバ1の記憶装置26より読み出す。

【 0 0 8 2 】

ステップS32：当該表示すべきトップ画面の表示画面データ及びステップS31で記憶装置26より読み出したデータを、インターネット3を介してログインしているユーザ端末5に送信する。このとき、これらの表示画面データ等を通信インタフェース27を介して受信したユーザ端末5のCPU21は、現在実行しているブラウザ機能により当該受信した表示画面データ等を解釈し、その解釈に応じてディスプレイ22にトップ画面を表示する。

【0083】

ステップS33：本システムの利用終了を示すデータを受信したか否かを検出し、YES（受信した）のときには処理を中止する。

【0084】

ステップS34：ステップS33の判断でNO（未受信）のときには、ユーザ端末5に現在表示されているウィンドウ画面上でソフトウェアボタン（以下、ボタン）（アイコンを含む）が押下（クリック）されたことを示すデータをインターネット3を介して受信したか否かを検出し、NO（未受信）のときにはステップS33に戻る。

【0085】

ステップS35：ステップS34の判断でYES（受信した）のときには、現在表示されているウィンドウ画面によりユーザが使用可能な機能とは異なる他の機能を選択するためのボタンか否かを判断し、その判断の結果がYES（他の機能を示す）のときにはステップS31に戻る。一方、ステップS35の判断の結果がNO（他の機能ではない）のときには、ステップS37に進む。

【0086】

ステップS36：ステップS33の判断でNO（未受信）のときには、現在ユーザ端末5にて表示中のウィンドウ画面に対するユーザの操作入力に応じて、インターネット3を介して受信するデータを、車両メーカ側サーバ1の記憶装置26や進捗管理DB32に書き込む（更新を含む）及び／または新たにデータを読み出す。

【0087】

ステップS37：必要に応じて、ステップS36で読み出したデータ及びそのデータを表示するウィンドウ画面を表わす表示画面データを、インターネット3を介してログインしているユーザ端末5に送信し、ステップS33に戻る。このとき、これらの表示画面データ等を、ステップS32の場合と同様に受信したユーザ端末5のCPU21は、例えば、現在まで表示していたトップ画面に従属しているウィンドウ画面の表示や、現在表示しているウィンドウ画面の一部への新たなウィンドウ画面の表示等を行なう。

【0088】

(2) 各処理モジュール間における状態遷移

図17は、本実施形態において車両メーカー側サーバ1が実行する処理の全体概要を示すフローチャートである。

【0089】

車両メーカー側サーバ1にて実行されるM1乃至M8の処理モジュール群は、後述する各種ウィンドウ画面をユーザ端末5のディスプレイ22に表示し、その表示したウィンドウへの入力操作を実現する機能を有しており、これら各処理モジュール内における表示画面の遷移については、図4乃至図8を参照して後述する。

【0090】

図17において、ステップS11、ステップS12：インターネット3を介してユーザ端末5が本システムのサイトにリンクすることにより、イニシャル処理(M1)が実行され(ステップS11)、その実行中には、他の処理についての起動要求データを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し(ステップS2)、当該データを受信したときには、そのデータに応じて、ステップS13、ステップS16、ステップS21、或いはステップS22に進み、当該データを受信しないときにはステップS23に進む。

【0091】

ステップS13～ステップS15：車両仕様選定処理(M2)を実行し(ステップS13)、その実行中には、見積・査定依頼処理(M3)についての起動要求データを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し(ステップS14)、当該データを受信したときには、見積・査定依頼処理(M3)を実行する(ステップS15)。

【0092】

ステップS16～ステップS20：見積事項確認処理(M4)を実行し(ステップS16)、その実行中には、クレジット審査処理(M5)、或いは商談申し込み処理(M6)についての起動要求データを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し(ステップS17、ステップS19)、当該データを受信したときには

、そのデータに応じて、クレジット審査処理（M5）、或いは商談申し込み処理（M6）を実行する（ステップS18、ステップS20）。

【0093】

ステップS22：インストラクション処理（M8）を実行する。

【0094】

ステップS23、ステップS24：上記の各処理モジュールを実行中において、本システムの利用終了を示すデータを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し（ステップS23）、当該データを受信したときには、実行中の処理モジュールの処理を中止し（ステップS24）、当該データを受信しないときにはステップS12に戻る。

【0095】

（3）各処理モジュール内における表示画面の遷移

次に、上記のように概説した大別して8種類の処理モジュール内における表示画面の遷移について、図4乃至図8を参照して説明する。ここで、図4乃至図8において破線ブロックで示す各処理モジュール間の状態遷移の関係は、図3を参照して上述した機能体系に従う。

【0096】

<イニシャル処理（M1）、車両仕様選定処理（M2）>

図4は、イニシャル処理（M1）と車両仕様選定処理（M2）における表示画面の遷移を示す図である。

【0097】

同図において、イニシャル処理（M1）は、本システムのホームページ画面であるトップ画面A-1（図23）を表示する。図23に例示するトップ画面A-1には、個別仕様車の仕様選定、見積、発注等が可能な本システムの利用を希望するユーザ（即ち、インターネット3を介して車両メーカー側サーバ1にリンクしているユーザ端末5のユーザ）が操作する「Enter」ボタンが含まれている。イニシャル処理（M1）は、この「Enter」ボタンが操作されると、本システムのホーム画面A-2（図24）を、当該ユーザ端末5に表示する。

【0098】

図 2 4 は、イニシャル処理 (M 1) が表示するホーム画面 A - 2 を例示する図である。

【 0 0 9 9 】

同図に示す表示画面には、複数の操作ボタンが含まれており、「このサイトについて」または「ご購入手順」の操作ボタンが操作されたときには、後述するインストラクション処理 (M 8) の機能により、当該ユーザ端末 5 には、所定の説明画面が展開される。また、「ご購入検討一覧」の操作ボタンが操作されたときには、当該ユーザ端末 5 に対して、後述する見積事項確認処理 (M 4) の機能が提供される。そして、「ご購入車両納期照会」の操作ボタンが操作されたときには、当該ユーザ端末 5 に対して、後述する納期照会処理 (M 7) の機能が提供される。

【 0 1 0 0 】

また、ホーム画面 A - 2 において、スポーツタイプの車種 A またはワゴンタイプの車種 B の写真部分がクリックされたときには、当該ユーザ端末 5 に対して、車両仕様選定処理 (M 2) の機能が提供される。

【 0 1 0 1 】

本実施形態において、車両仕様選定処理 (M 2) は、説明の都合上から、一例としてスポーツタイプの車種 A またはワゴンタイプの車種 B について、ユーザ所望の個別仕様車の仕様選定を行うことができる。

【 0 1 0 2 】

ホーム画面 A - 2 において所望の車種が選択されると、車両仕様選定処理 (M 2) の機能により、選択された車種の標準仕様車 (ベース仕様車) を基本として、所定の複数項目について所望の仕様選定から確定までをユーザ自身が行うことができる。換言すれば、当該システム内部に標準仕様車として予め設定されている各種の仕様 (装備) は、ユーザの仕様選定操作により、他の仕様 (装備) に置き換えられる、或いは、標準仕様車には設定されていない新たな装備 (オプション装備) が追加される。

【 0 1 0 3 】

図 2 5 は、車両仕様選定処理 (M 2) が表示する車両仕様選定画面 (B - 1 乃

至B-15)のフォーマットを例示する図であり、当該画面の基本的なフォーマットは、エンジン・トランスミッション選定画面B-1及びB-8、タイヤ・ホイール選定画面B-2及びB-9、インテリア選定画面B-3及びB-10、オーディオ選定画面B-4及びB-11、ボディーカラー選定画面B-5及びB-12、並びにデコレーションパーツ選定画面B-6及びB-13において基本的に共通である。

【0104】

これら車両仕様選定画面の詳細な構成については、本願の本質ではないので説明及び図示を省略するが、ここで各画面の機能を概説する。

【0105】

エンジン・トランスミッション選定画面(B-1, B-8):この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において先に選定した所望の車種について、搭載可能な複数種類のエンジン及びトランスミッションの組み合わせの中から、所望の組み合わせを選択することができる。

【0106】

タイヤ・ホイール選定画面(B-2, B-9):この画面は、エンジン・トランスミッション選定画面(B-1, B-8)において先に選定されたエンジン及びトランスミッションの組み合わせに応じて表示される。ユーザ端末5のユーザは、この画面において選択肢として提示される複数種類のタイヤ及びホイールの組み合わせの中から、所望の組み合わせを選択することができる。更に、対象車種によっては、アンチロックブレーキ(ABS)やトルセンLSD等の装備を選択することができる。

【0107】

インテリア選定画面(B-3, B-10):この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において選定した所望の車種に採用可能な複数種類の内装(インテリア)の中から、所望の内装を選択することができる。

【0108】

オーディオ選定画面(B-4, B-11):この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において選定した所望の車種に採用可能な複数種

類のオーディオシステムの中から、所望のものを選択することができる。

【 0 1 0 9 】

ボディーカラー選定画面（B - 5， B - 1 2）：この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、ホーム画面 A - 2 において選定した所望の車種に採用可能な複数種類のボディーカラーの中から、所望のものを選択することができる。

【 0 1 1 0 】

デコレーションパーツ選定画面（B - 6， B - 1 3）：この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、ホーム画面 A - 2 において選定した所望の車種に採用可能な複数種類のデコレーションパーツ（オプションパーツ）の中から、所望のものを選択することができる。

【 0 1 1 1 】

ここで、販売代理店においてユーザへの納車前に装着される、所謂ディーラオプション扱いのデコレーションパーツには、一般に、自動車メーカーにおいて組み立てられた自動車の物理的な要因（例えば形状や取り付けスペース等）の制約がある。従って、本システムにおいて係るディーラオプション扱いのデコレーションパーツをも選定可能にする場合には、上記の各画面において先に選定された各仕様項目に応じて、デコレーションパーツ選定画面（B - 6， B - 1 3）において選択肢として表示するパーツ群が制約されるように構成する必要がある。

【 0 1 1 2 】

これらの車両仕様選定画面において、上半分の領域には、ホーム画面 A - 2 において選択された車種及びその内装写真、それら写真を拡大表示可能な「Z O O M」ボタン、当該車種に関する各種情報を表示可能な「商品情報」ボタン、当該車種の標準仕様車に関する仕様や諸元等が含まれる標準仕様表示画面 B - 7 または及び B - 1 4 を表示可能な「標準仕様車情報」ボタン、ユーザが選択した仕様に応じた車両単位（個別仕様車 1 台分として）のメーカー希望小売価格、そのメーカー希望小売価格の明細について図 2 6 に例示する如く表示可能な「明細」ボタン、並びにユーザが選択済みの仕様の各項目について詳細が表示される。

【 0 1 1 3 】

本実施形態では、車両仕様選定画面において、メーカー希望小売価格が車両単位

または仕様項目単位で表示可能であるため、所望仕様の個別仕様車を選定する際の購入価格の目安をユーザに提示することができ、利便性が向上する。

【0114】

図26は、図25に示す「明細」ボタンが操作された場合に表示されるメーカー希望小売価格の明細画面を例示する図であり、車両単位のメーカー希望小売価格と、その根拠となる選択済みの各仕様項目とその項目毎のメーカー希望小売価格等が表示される。

【0115】

また、ユーザによる個別仕様車の選定作業は、車種AであればB-1からB-6の各選定画面、車種BであればB-8からB-13の各選定画面の順番へと順に仕様項目を選定するような制約を受けるように構成されており、車両仕様選定画面の下半分の領域には、上記のB-1乃至B-6またはB-8乃至B-13の各画面に対応する各選定工程（ステップ）が、一例として、複数枚重ねられたフォルダ形式で表示される。

【0116】

図25の例では、第3ステップのフォルダが選択された状態が表示されており、選択されたフォルダ（アクティブな状態）には、そのステップにおいてユーザが選定すべき仕様項目について、選択可能な選択肢が、写真等のイメージ、標準仕様車との価格差、並びに名称（型式番号）等と共に表示される。表示された選択肢の中からユーザが所望の選択肢（仕様）を選択するのに応じて、その選択された仕様情報は、車両メーカー側サーバ1に当該ユーザを特定する識別情報（ID）と共に格納される。

【0117】

このとき、車両メーカー側サーバ1は、当該選択された仕様項目情報をキーとしてメーカー希望小売価格DB31を参照することによって当該仕様項目についてのメーカー希望小売価格を取得し、取得した当該仕様項目についてのメーカー希望小売価格を、それまでの各ステップにて既に選定されている仕様項目に加える。

【0118】

これにより、図25の右上に表示されていた車両単位のメーカー希望小売価格は

更新され、その後「明細」ボタンが選択されれば、図26に例示した明細表示画面には、現在のステップにおいて選定された仕様項目及びそのメーカー希望小売価格についての欄が追加された状態で表示される。

【0119】

また、好適な実施形態において、ユーザが各ステップにおいて所望の仕様項目を選択するのに応じて、仕様選定中の個別仕様車のイメージを、選択された仕様項目（例えばボディーカラーやホイール等）が反映された状態に更新されるように構成すると良い。

【0120】

更に好ましくは、選定が終了したステップのフォルダの表示色（図25ではステップ1及びステップ2）は、これから選択が行われるべきステップ（図25ではステップ3乃至ステップN）のフォルダの表示色と異なる色に変更すると良い。

【0121】

更に、車両仕様選定画面の下半分の領域には、ホーム画面A-2（図24）にジャンプすることが可能な「HOME」ボタン、前後の表示画面に遷移可能な「BACK」及び「NEXT」ボタンが表示される。

【0122】

また、車両仕様選定処理（M2）の各ステップにおいてユーザに許容される選択肢には、所定の制約が予め設けられており、その基本的な考え方としては、個別仕様車の仕様選定作業の第1ステップとして、その車両の動力性能を決定する基幹部分の仕様選択が行われるように制約が設けられており、且つその後の段階においても、該第1ステップにおいて選定された仕様が最優先されるように制約が設けられている。

【0123】

即ち、本実施形態では、第1ステップとして、当該自動車メーカーにおいて生産可能な自動車の基幹部分をなす駆動系の部材選定（より具体的には、エンジン・トランスミッション選定画面B-1及びB-8に相当する）と、選定された駆動系の部材に対して予め登録されている車輪周辺部材の選定（より具体的には、第

2ステップのタイヤ・ホイール選定画面B-2及びB-9に相当する)とが順に行われることにより、まず、走行性能及び動力性能に直接的な影響を与える自動車のメカニズムについての仕様が、自動車の走行性能には直接的には寄与しないインテリア、オーディオ、エクステリア等の仕様選定に先立って決定される。

【0124】

そして、車両仕様選定処理(M2)では、これらの各画面を利用してユーザによって1台分の個別仕様車に対して必要な全ての仕様項目が選定されることにより、そのユーザ所望の個別仕様車の車両仕様を特定する識別情報(仕様番号)が選択される。

【0125】

図9は、車両仕様選定処理(M2)において車種A(スポーツタイプ)のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、車種Aのメカニズムについて所望の仕様を選定すべく、同図左側に示すベースグレード及びベースモデルである標準仕様車を基本として、右方向に順番に、エンジン/トランスミッション、サスペンション/タイヤ・ホイール、アンチロックブレーキ(ABS)、トルセンLSDの各仕様項目の選択肢が設定されている。

【0126】

図10は、車両仕様選定処理(M2)において車種A(スポーツタイプ)のインテリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、図9に示す選択肢の制約に基づいて、許容される何れかのメカニズムが決定された車種Aについて採用される。同図に示す例では、右方向に順番に、インテリアの色や仕様等の各仕様項目の選択肢が設定されているが、メカニズムの場合と異なり、デザインや価格面の観点に基づいて設定された制約である。

【0127】

そして、図11は、車両仕様選定処理(M2)において車種A(スポーツタイプ)のオーディオを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、同図に示す例では、図9及び図10に示す選択肢の制約に基づいて何れかのメカニズム及びインテリアが決定された全ての車種Aについて、全てのオーディオシステムが選択可能に設定されている。

【 0 1 2 8 】

図 9 乃至図 1 1 に示す選択肢の制約情報は、上述した車両仕様選定画面の各ステップにおいてユーザによって選択肢が選択されるのに応じて、次のステップに対応する画面において表示すべき選択肢として参照される情報として、例えば車両メーカー側サーバ 1 の記憶装置 2 6 等に予め設定される。そして、図 9 乃至図 1 1 に示す全ての仕様項目が選定されることにより、当該ユーザの個別仕様車に対する識別情報（車種 ID）が選択される。また、この時点で選択された車種 ID は、当該自動車メーカーが車種 A について公的機関から予め取得した型式認定に属する。

【 0 1 2 9 】

図 1 2 は、車両仕様選定処理（M 2）において車種 B（ワゴンタイプ）のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、基本的には図 9 を参照して上述した車種 A（スポーツタイプ）の系統図と同様な構成であるが、車種 B はワゴンタイプであるため、スポーツタイプの車種 A と比較してシンプルな仕様項目が設定されている。

【 0 1 3 0 】

図 1 3 は、車両仕様選定処理（M 2）において車種 B（ワゴンタイプ）のインテリア（ここではオーディオシステムを含むものとする）を選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、基本的には図 1 0 を参照して上述した車種 A（スポーツタイプ）の系統図と同様な構成であるが、同図に示す例では、図 1 2 の制約の基に先に選定されたエンジンの種類に応じて、価格面を考慮して、シンプルな仕様項目が設定されている。

【 0 1 3 1 】

そして図 1 4 は、車両仕様選定処理（M 2）において車種 B（ワゴンタイプ）のエクステリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、同図に示す例では、図 1 2 の制約の基に先に選定されたエンジンの種類に応じて、価格面を考慮して、シンプルな仕様項目が設定されている。

【 0 1 3 2 】

図 1 2 乃至図 1 4 に示す選択肢の制約情報は、上述した車両仕様選定画面の各

ステップにおいてユーザによって選択肢が選択されるのに応じて、次のステップに対応する画面において表示すべき選択肢として参照される情報として、例えば車両メーカー側サーバ1の記憶装置26等に予め設定される。そして、図12乃至図14に示す全ての仕様項目が選定されることにより、当該ユーザの個別仕様車に対する識別情報（車種ID）が選択されることになる。また、この時点で選択された車種IDは、当該自動車メーカーが車種Bについて公的機関から予め取得した型式認定に属する。

【0133】

ここで、本実施形態において説明している見積・発注システムを利用して所望仕様の個別車両を購入しようとするユーザ（顧客）は、基本的には、単なる移動手段として自動車を運転する通常のドライバと比較して運転そのものを好むことが予想され、このようなユーザは、自動車の購入に際して、駆動系やタイヤ・ホイール等の足回りの構成にも関心が高いことが容易に予想されるが、上述したような選択肢の制約を採用すれば、係るユーザの要求を効率良く且つ高い次元で満たすことができる。

【0134】

また一般に、自動車には、量産及び販売に先立って対象となる車種及びその仕様について公的機関から型式認定を予め取得する必要があるが、この型式認定は、自動車の安全走行に大きく関与する動力性能が基本とされるが、上述した制約を採用すれば、最終的に決定される車種IDを、本システムによって選定可能な複数種類の個別仕様車について公的機関から予め取得した型式認定の範囲内に、効率良く且つ確実に納めることができる。

【0135】

従って、このような制約の基に、車両仕様選定画面において選定操作を順次行うことにより、ユーザ端末5のユーザ（顧客）は、ホーム画面A-2（図24）において選択した所望の車種についての個別仕様車を、ユーザ自身のインタラクティブなゲーム感覚の操作によって簡単に選定することができ、当該ユーザは、自動車のチューニングショップのエンジニアが自動車をチューニングしていく感覚を味わうことができる。

【0136】

そして、車両仕様選定処理（M2）において個別仕様車の仕様に必要な全ての仕様項目の選定が完了すると、図27に示す選定仕様表示画面B-15が表示される。

【0137】

図27は、車両仕様選定処理（M2）が表示する選定仕様表示画面B-15を例示する図である。選定仕様表示画面B-15には、一例として、仕様が選定された個別仕様車の外観及びインテリアの写真イメージ、選択された仕様項目及びその価格、標準仕様車の価格等が表示される。

【0138】

そして、選定仕様表示画面B-15において、実販売価格の見積請求、或いは販売代理店への販売価格の見積請求を行うべく、「販社見積請求」ボタンが操作されたときには、選定された個別仕様車の仕様項目が確定し、後述する見積・査定依頼処理（M3）に遷移することができる。一方、「戻る」ボタンが操作されたときには、上述した各ステップに対応する車両仕様選定画面に順次戻って、仕様項目の変更を行うことができる。即ち、一旦前の選択肢に戻らないと他の選択肢は選択することはできない。

【0139】

<見積・査定依頼処理（M3）>

図5は、見積・査定依頼処理（M3）における表示画面の遷移と、見積・査定の依頼に伴う電子メールの送信機能を示す図であり、車両仕様選定処理（M2）における個別仕様車の仕様選定後に、上記の「販社見積請求」ボタンが操作されるのに応じて起動する。見積・査定依頼処理（M3）からは、ユーザの操作に応じて、車両仕様選定処理（M2）に遷移することができる。

【0140】

同図に示すように、見積・査定依頼処理（M3）における表示画面の遷移としては、見積請求トップ画面C-1（図28）、査定申込入力画面C-2（図29）、販売代理店検索・選定画面C-3、入力内容確認画面C-4、見積・査定内容送信画面C-5、並びに販売代理店地図閲覧画面C-6の各画面を、当該ユー

ザ端末5に表示することができる。

【0141】

見積請求トップ画面C-1（図28）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、当該ユーザに関する項目（氏名等、既に発行されている場合はユーザID及びパスワード）を入力することにより、車両仕様選定処理（M2）において先に確定した個別仕様車について、販売代理店に対して、見積または下取車両の査定を申し込む（依頼する）ことができる。即ち、当該表示画面においてユーザに関する情報が入力された後、査定申込みに関するラジオボタンにおいて「はい」が選択された場合には、査定申込入力画面C-2が表示され、「いいえ」が選択された場合には、販売代理店検索・選定画面C-3が表示される。

【0142】

査定申込入力画面C-2（図29）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、下取りを希望する自動車（下取車両）についての所定の仕様項目（自動車メーカー名、車名、排気量、走行距離等）を入力し、「次へ」ボタンが選択されるのに応じて、販売代理店検索・選定画面C-3が表示される。

【0143】

販売代理店検索・選定画面C-3（不図示）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、個別仕様車の見積または下取車両の査定を依頼することを希望する販売代理店をユーザ自身が選択することができる。選択の手順としては、例えば見積請求トップ画面C-1等において先に入力されている当該ユーザの住所に基づいて近隣の販売代理店を自動的に提示する方法や、一覧表示された販売代理店の中から所望の販売代理店を当該ユーザに選択させる方法等が想定される。何れの場合においても、販売代理店検索・選定画面C-3からは、各販売代理店の所在を地図上で確認可能な販売代理店地図閲覧画面C-6に展開可能に構成することにより、ユーザの利便性を考慮すると良い。

【0144】

販売代理店検索・選定画面C-3において個別仕様車の見積または下取車両の査定を依頼する販売代理店が選択されると、当該ユーザのユーザ端末5には、入力内容確認画面C-4が表示される。

【0145】

入力内容確認画面C-4（不図示）：この画面には、車両仕様選定処理（M2）において先に確定した個別仕様車についての各仕様項目（メーカー希望小売り価格を含む）の内容、下取車両の査定を選択した場合には査定申込入力画面C-2においてユーザ自身が入力した各項目の内容、並びにそれらの見積・査定を依頼すべく販売代理店検索・選定画面C-3において選択された販売代理店に関する情報等が一覧表示される。ユーザ端末5のユーザは、入力内容確認画面C-4において表示される情報の内容について確認した後、所定の操作によって実際に見積・査定を依頼すると、当該ユーザ端末5には、見積・査定内容送信画面C-5が表示される。

【0146】

見積・査定内容送信画面C-5（不図示）：この画面には、見積・査定依頼が送信され、車両メーカー側サーバ1において受け付けられたことと、当該ユーザによって選択された販売代理店から依頼内容に関する電子メールが当該ユーザ宛に届くこと等の情報が表示される。

【0147】

見積・査定依頼処理（M3）には、見積・査定内容送信画面C-5において見積・査定依頼がユーザ端末5から送信されるのに応じて、電子メールを送受信する機能が含まれる。

【0148】

ID・パスワード回答メールC-7：当該ユーザからの見積依頼が今回初めてである場合に、そのユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、発行したID・パスワードを含む電子メールが送信される。

【0149】

見積・査定依頼通知メールC-8：当該ユーザから個別仕様車の見積依頼及び／または下取車両の査定を依頼されたことを、車両メーカー側サーバ1から対象となる販売代理店の販売代理店側サーバ2に通知するための電子メールが送信される。この電子メールには、例えば見積請求トップ画面C-1において入力された当該ユーザを特定可能な情報（住所、氏名、メールアドレス等）と、車両仕様選

定処理（M2）にて設定された車両仕様の識別情報（仕様番号）、査定申込入力画面C-2において入力された下取車両の仕様項目等が含まれる。

【0150】

見積・査定依頼確認メールC-9：当該ユーザから個別仕様車の見積依頼及び／または下取車両の査定を依頼された販売代理店から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、見積依頼・査定依頼がなされたことを確認するために電子メールが送信される。

【0151】

査定結果回答メールC-10：当該ユーザより下取車両の査定を依頼された販売代理店から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、査定結果を回答するための電子メールが送信される。

【0152】

見積結果回答メールC-11：当該ユーザより見積依頼された販売代理店から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、見積結果を回答するための電子メールが送信される。

【0153】

図18は、車両メーカー側サーバ1において行われる見積・査定依頼処理（M3）を示すフローチャートである。

【0154】

同図において、ステップS41，ステップS42：車両仕様選定処理（M2）の実行中に見積・査定の要求が有るか否かを判断し（ステップS41：ステップS17（図17）に対応）、当該要求が無い場合にはステップS13（図17）に戻り、当該要求が有る場合には、見積請求トップ画面C-1（図28）をユーザ端末5に表示すると共に、その画面に入力されたユーザIDやパスワードの妥当性をチェックする（ステップS42）。

【0155】

ステップS43，ステップS44：査定の要求が有るか否かを判断し（ステップS43）、当該要求が無い場合にはステップS45に進み、当該要求が有る場合には、当該ユーザ端末5に査定申込入力画面C-2（図29）を表示すること

によって査定を希望する下取車両の情報を当該ユーザに入力させると共に、販売代理店検索・選定画面 C-3 を当該ユーザ端末 5 に表示することによって希望する販売代理店をユーザに選択させ、選択された販売代理店には、見積・査定依頼通知メール C-8 によって入力された情報を送信する（ステップ S 4 4）。

【 0 1 5 6 】

ステップ S 4 5，ステップ S 4 6：個別仕様車についての見積の要求が有るかを判断し（ステップ S 4 5）、当該要求が無い場合には処理を終了し、当該要求が有る場合には、車両仕様選定処理（M 2）にて設定された車両仕様の識別情報（仕様番号）を、販売代理店側サーバに送信する（ステップ S 4 6）。

【 0 1 5 7 】

< 見積事項確認処理（M 4） >

図 6 は、見積事項確認処理（M 4）における表示画面の遷移を示す図であり、イニシャル処理（M 1）によって表示されたホーム画面 A-2 において、「ご購入検討一覧」の操作ボタンが操作されるのに応じて起動する。見積事項確認処理（M 4）からは、ユーザの操作に応じて、イニシャル処理（M 1）、クレジット審査処理（M 5）、或いは商談申し込み処理（M 6）に遷移することができる。

【 0 1 5 8 】

同図に示すように、見積事項確認処理（M 4）における表示画面の遷移としては、ID・パスワード入力画面 D-1（図 3 0）、購入検討情報一覧画面 D-2（図 3 1）、見積事項確認画面 D-3（図 3 2）、見積仕様イメージ表示画面 D-4、クレジット審査結果表示画面 D-5、並びに下取査定結果表示画面 D-6 の各画面を、当該ユーザ端末 5 に表示することができる。

【 0 1 5 9 】

ID・パスワード入力画面 D-1（図 3 0）：この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、当該ユーザに対して先に発行されているユーザ ID（会員 ID）とパスワードを入力し、「送信」ボタンを操作することによって本システム（車両メーカー側サーバ 1）にログインする。ログインが完了すると、当該ユーザ端末には、購入検討情報一覧画面 D-2（図 3 1）が表示される。

【 0 1 6 0 】

購入検討情報一覧画面D-2（図31）：この画面では、当該ユーザに対して先に行われた見積、査定、並びにクレジット審査について一覧表示が行われ、当該ユーザは、所望の表示項目をクリックする等の操作によって選択することにより、選択した項目の詳細な内容を示す画面が当該ユーザのユーザ端末5に表示される。

【0161】

見積事項確認画面D-3（図32）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、当該ユーザに対して先に行われた見積の詳細内容を確認することができ、「ご商談申込み」ボタンが操作されたときには商談申し込み処理（M6）に遷移することができ、「クレジットご検討」ボタンが操作されたときにはクレジット審査処理（M5）に遷移することができ、「見積仕様イメージ確認」ボタンが操作されたときには現在表示されている個別仕様車の見積仕様に対応する自動車の画像を、見積仕様イメージ表示画面D-4（不図示）において確認することができる。そして、「ご購入検討一覧に戻る」の操作ボタンが操作されたときには、購入検討情報一覧画面D-2（図31）に遷移することができる。

【0162】

図19は、車両メーカー側サーバ1において行われる見積事項確認処理（M4）を示すフローチャートである。

【0163】

同図において、ステップS51、ステップS52：イニシャル処理（M1）の実行中に見積事項の照会について要求が有るか否かを判断し（ステップS51：ステップS12（図17）に対応）、当該要求が無い場合にはステップS12（図17）に戻り、当該要求が有る場合には、ID・パスワード入力画面D-1（図30）をユーザ端末5に表示すると共に、その画面に入力されたユーザIDやパスワードの妥当性をチェックする（ステップS52）。

【0164】

ステップS53、ステップS54：販売代理店側サーバ2との通信処理を行う（ステップS53）と共に、販売代理店側サーバ2において当該ユーザIDに関する見積情報の更新が行われたか否かを問合せ（ステップS54）。ここで、

ステップ S 5 3 における通信処理は、後述する販売代理店側サーバ 2 の制御処理（図 2 0）のステップ S 2 1 1 とリンクする処理である。

【0165】

ステップ S 5 5：販売代理店側サーバ 2 に格納されている当該ユーザ I D に関する見積情報を取得すると共に、取得した見積情報を、購入検討情報一覧画面 D - 2（図 3 1）またはその画面における操作に応じて、見積事項確認画面 D - 3（図 3 2）によって当該ユーザのユーザ端末 5 に表示する。

【0166】

ステップ S 5 6：販売代理店側サーバ 2 に格納されている当該ユーザ I D に関する更新された見積情報を、更新されたことをユーザが識別可能に、購入検討情報一覧画面 D - 2（図 3 1）またはその画面における操作に応じて、見積事項確認画面 D - 3（図 3 2）によって当該ユーザのユーザ端末 5 に表示する。

【0167】

ステップ S 5 7，ステップ S 5 8：仕様確定した個別仕様車についてのクレジット審査の申込み要求が有るか否かを判断し（ステップ S 5 7：ステップ S 1 7（図 1 7）に相当）、当該要求が有る場合にはステップ S 1 8（図 1 7）に進み、当該要求が無い場合には処理を終了する。

【0168】

更に、仕様確定した個別仕様車についての商談の申込み要求が有るか否かを判断し（ステップ S 5 8：ステップ S 1 9（図 1 7）に相当）、当該要求が有る場合にはステップ S 2 0（図 1 7）に進み、当該要求が無い場合には処理を終了する。

【0169】

＜クレジット審査処理（M 5）・商談申し込み処理（M 6）＞

図 7 は、クレジット審査処理（M 5）及び商談申し込み処理（M 6）における表示画面の遷移と、クレジット審査及び商談申し込みに伴う電子メールの送信機能とを示す図であり、クレジット審査処理（M 5）は、見積事項確認処理（M 4）によって表示された見積事項確認画面 D - 3（図 3 2）において、「クレジットご検討」ボタンが操作されるのに応じて起動し、商談申し込み処理（M 6）は

、見積事項確認画面 D-3（図 3 2）において、「ご商談申込み」ボタンが操作されるのに応じて起動する。クレジット審査処理（M 5）及び商談申し込み処理（M 6）からは、見積事項確認処理（M 4）に遷移することができる。

【0170】

同図に示すように、クレジット審査処理（M 5）における表示画面の遷移としては、借入条件入力画面 E-1（図 3 3）、返済計画表示画面 E-2（図 3 4）、クレジット審査入力画面 E-3、クレジット申込み内容送信画面 E-4 の各画面を、当該ユーザ端末 5 に表示することができる。

【0171】

借入条件入力画面 E-1（図 3 3）：この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、見積事項確認処理（M 4）において選択した見積項目において提示された個別仕様車を分割払いのローンで購入する場合について、利用するクレジットに関する各種項目を入力することができ、所定項目の入力後に、「計算実行」ボタンが操作されるのに応じて、ユーザ端末 5 には、返済計画表示画面 E-2（図 3 4）が表示される。

【0172】

返済計画表示画面 E-2（図 3 4）：この画面には、借入条件入力画面 E-1 にて設定された項目に基づくクレジットの計算結果（返済計画）が一覧表示される。この画面において「クレジット審査申込」ボタンが操作されるのに応じて、ユーザ端末 5 には、クレジット審査入力画面 E-3 が表示される。

【0173】

クレジット審査入力画面 E-3（不図示）：この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、返済計画表示画面 E-2 において表示された返済計画に基づくクレジット審査を、信販会社に申し込むことができる。

【0174】

クレジット申込み内容送信画面 E-4（不図示）：この画面には、クレジット審査が送信され、車両メーカー側サーバ 1 において受け付けられたことと、審査結果に関する電子メールが当該ユーザ宛に届くこと等の情報が表示される。

【0175】

見積事項確認処理（M4）には、クレジット申込み内容送信画面 E-4 においてクレジット審査の申込み情報がユーザ端末 5 から送信されるのに応じて、電子メールを送受信する機能が含まれる。

【0176】

クレジット審査依頼確認メール E-5：当該ユーザからクレジット審査を依頼された車両メーカー側サーバ 1 から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、クレジット審査依頼がなされたことを確認するために電子メールが送信される。

【0177】

クレジット審査依頼通知メール E-6：当該ユーザからクレジット審査が依頼されたことを、車両メーカー側サーバ 1 から対象となる信販会社に通知するための電子メールが送信される。この電子メールには、返済計画表示画面 E-2 において表示された返済計画の内容、並びにユーザに関する情報等が含まれる。

【0178】

クレジット審査結果回答メール E-7：クレジット審査を行った信販会社から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスと車両メーカー側サーバ 1 に対して、審査結果を回答するための電子メールが送信される。

【0179】

次に、図 7 に示す商談申し込み処理（M6）における表示画面の遷移としては、商談申し込み入力画面 F-1（図 35）、商談申し込み内容送信画面 F-2 の各画面を、当該ユーザ端末 5 に表示することができる。

【0180】

商談申し込み入力画面 F-1（図 35）：この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、見積事項確認処理（M4）において選択した見積項目において提示された個別仕様車について、その個別仕様車について見積価格を提示した販売代理店に対する商談申し込みに関する各種項目（下取り車両の有無、クレジット利用の有無、商談希望日等）を入力することができ、所定項目の入力後に、「商談申込」ボタンが操作されるのに応じて、ユーザ端末 5 には、商談申し込み内容送信画面 F-2 が表示される。

【0181】

商談申し込み内容送信画面 F-2（不図示）：この画面には、商談申し込み入力画面 F-1 における申込み内容が送信され、車両メーカー側サーバ 1 において受け付けられたことと、商談に関する電子メール或いは電話等による連絡が、対応する販売代理店からなされる旨の情報が表示される。

【0182】

商談申し込み処理（M6）には、商談申し込み内容送信画面 F-2 において商談申し込み情報がユーザ端末 5 から送信されるのに応じて、電子メールを送受信する機能が含まれる。

【0183】

商談依頼確認メール F-3：当該ユーザから商談を依頼された車両メーカー側サーバ 1 から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、商談を依頼がなされたことを確認するために電子メールが送信される。

【0184】

商談依頼通知メール F-4：当該ユーザから商談を依頼されたことを、車両メーカー側サーバ 1 から対象となる販売代理店に通知するための電子メールが送信される。この電子メールには、商談申し込み入力画面 F-1 において表示された内容、並びにユーザに関する情報等が含まれる。

【0185】

本実施形態において、販売代理店における商談後に、自動車メーカーに対して実際に個別仕様車を発注する方法としては、販売代理店側サーバ 2 から車両メーカー側サーバ 1 に対して行う方法や、専用回線によって別途発注を行う方法等が想定される。

【0186】

＜納期照会処理（M7）・インストラクション処理（M8）＞

図 8 は、納期照会処理（M7）及びインストラクション処理（M8）における表示画面の遷移と、納期照会に伴う電子メールの送信機能とを示す図である。

【0187】

納期照会処理（M7）は、イニシャル処理（M1）によって表示されたホーム

画面A-2において、「ご購入車両納期照会」の操作ボタンが操作されるのに応じて起動する。また、インストラクション処理(M8)は、ホーム画面A-2において、「このサイトについて」、「ご購入手順」、「プライバシーポリシー」等の操作ボタンが操作されるのに応じて起動する。納期照会処理(M7)とインストラクション処理(M8)とからは、ユーザの操作に応じて、イニシャル処理(M1)に遷移することができる。

【0188】

同図に示す納期照会処理(M7)では、ID・パスワード入力画面G-1(図30に同じ)、納期ステータス照会画面G-2(図22)の各画面を、当該ユーザ端末5に表示することができると共に、納期ステータス報告メールG-3を、該当するユーザ端末5宛に送信する。

【0189】

ID・パスワード入力画面D-1(図30):この画面において、ユーザ端末5のユーザは、当該ユーザに対して先に発行されているユーザID(会員ID)とパスワードを入力し、「送信」ボタンを操作することによって本システム(車両メーカー側サーバ1)にログインする。ログインが完了すると、当該ユーザ端末には、納期ステータス照会画面G-2(図22)が表示される。

【0190】

図22は、納期照会処理(M7)により表示される納期ステータス照会画面G-2を例示する図であり、この表示画面において、当該ユーザは、納車を待っている個別仕様車に関して、生産から納車までの複数段階における進捗状況を知ることができる。

【0191】

即ち、納期ステータス照会画面G-2には、ユーザ、個別仕様車、並びに販売代理店を特定する情報が表示されると共に、図22に示すように、当該個別仕様車についての生産から納車までの複数段階における進捗状況が、現在の状況を表わすグラフィックと、各段階を表わす画像(撮影画像)とによって提示される。また、既に完了した段階には、完了日が表示される。

【0192】

また、図 2 2 に示す各段階において、左から 2 番目の生産ラインにおける写真画像をユーザがクリックしたときには、更に、当該個別仕様車の生産ラインにおける組立中の撮影画像（例えば、基幹部材の組み付け工程、塗装工程、試験工程等の複数工程におけるビデオ画像または写真画像）がユーザ端末 5 に表示される。

【 0 1 9 3 】

また、図 2 2 に示す各段階において、左から 3 番目或いは 5 番目の写真をユーザがクリックしたときには、更に、当該個別仕様車の搬送船や搬送車（カーキャリアー）による搬送時の輸送経路及び／または現在位置を表わす地図画像がユーザ端末 5 に表示される。

【 0 1 9 4 】

上述した図 2 2 の納期ステータス照会画面 G - 2 に表示される情報は、車両メーカー側サーバ 1 が進捗管理 DB 3 2 を参照することによって取得することができる。

【 0 1 9 5 】

より具体的には、上述した各処理によって個別仕様車の車種 ID が決定され、その車種 ID の個別仕様車の発注がオンラインまたはオフラインで行われると、その個別仕様車に対する発注番号（オーダ ID）が発行されるので、組み立てライン（生産ライン）1 3 において当該個別仕様車が生産される際には、発注番号を利用することにより、当該組み立てラインを流れる組立中の当該個別仕様車の特定及び追跡は、容易且つ自動的に行うことができる。

【 0 1 9 6 】

そこで、当該自動車メーカーの組み立てライン 1 3 では、図 1 に示したように、組み付け工程、塗装工程、試験工程等に撮影装置 1 4 を設けておき、当該個別仕様車が流れてきたときときに撮影した画像は、撮影した日時の情報と共に、当該個別仕様車の発注番号（オーダ ID）をキーとして、進捗管理 DB 3 2 に格納されるように構成すれば良い。

【 0 1 9 7 】

また、搬送時の輸送経路及び／または現在位置は、図 1 に示したように、搬送

車11に搭載されたGPS通信モジュール12等を利用すれば、搬送車11の座標位置情報は容易に取得することができるので、取得した座標位置情報は、当該個別仕様車の発注番号（オーダーID）をキーとして、進捗管理DB32に格納されるように構成すれば良い。

【0198】

更に、自動車メーカーに対して個別仕様車の発注が行われ、実際の生産計画が管理用コンピュータ等において決定されると、その生産計画や使用される組み立てライン（生産ライン）の生産能力（タクト）等に基づいて、各工程を対象としている個別仕様車が流れる予定期日（日時）は自動的に容易に算出することができるので、算出された予定期日（日時）を電子メールによって当該ユーザに報知しておき、その予定期日に納期ステータス照会画面G-2（図22）にアクセスした当該ユーザには、実際に組立中の当該個別仕様車の状況を、リアルタイムで提供しても良い。

【0199】

図21は、車両メーカー側サーバ1において行われる納期照会処理（M7）を示すフローチャートである。

【0200】

同図において、ステップS101、ステップS102：イニシャル処理（M1）の実行中に納期ステータスの照会について要求が有るか否かを判断し（ステップS101：ステップS12（図17）に対応）、当該要求が無い場合にはステップS12（図17）に戻り、当該要求が有る場合には、ID・パスワード入力画面D-1（図30に同じ）をユーザ端末5に表示すると共に、その画面に入力されたユーザIDやパスワードの妥当性をチェックする（ステップS102）。

【0201】

ステップS103、ステップS104：当該ID／パスワードに対応する個別仕様車について、進捗管理DB32に格納されている納期／ステータス等の情報（製造工程における画像を含む）を読み出し（ステップS103）、読み出した情報を含む納期ステータス照会画面G-2（図22）に対応するユーザ端末5に表示する（ステップS104）。

【0202】

ステップS105, ステップS106: 進捗管理DB32に確定納期/納期変更に関する情報が含まれるかを判断し(ステップS105)、当該情報が含まれない場合にはステップS107に進み、当該情報が含まれる場合には、その確定納期/納期変更に関する情報を含む電子メールを、発信元を販売代理店として、該当するユーザに送信する(ステップS106)。ここで、確定納期/納期変更に関する情報には、予定納期が遅れる場合も、早まる場合も含まれる。

【0203】

ステップS107, ステップS108: ユーザ端末5から地図を含む進捗表示の要求が行われたか否かを判断し(ステップS107)、当該要求が行われた場合にはステップS109に進み、当該要求が行われない場合には、該当するユーザ端末5に納期変更が無い旨の電子メールを、発信元を販売代理店として、該当するユーザに送信する(ステップS108)。

【0204】

ステップS109~ステップS111: 当該ユーザ端末5が地図情報を保有または外部より取得可能な端末であるか否かを判断し(ステップS109)、地図情報を保有している場合には、進捗管理DB32に格納されている運送中の完成車両の現在位置情報を取得し(ステップS110)、地図情報を保有していない場合には、運送中の完成車両の現在位置周辺の地図画像を取得すると共に、その地図画像に当該現在位置をプロットした画像を生成する(ステップS111)。

【0205】

ステップS112: 現在位置情報または現在位置周辺の地図画像を添付した電子メールを、発信元を販売代理店として、該当するユーザに送信する。

【0206】

上述した納期照会処理(M7)によれば、ユーザは、自分が購入した個別仕様車(特定車両)の納車までの各段階を、所有するコンピュータ等のユーザ端末5において容易に把握することができ、納車を待つユーザの期待感を充足させることができる。

【0207】

また、図8に示すインストラクション処理(M8)では、個別仕様車見積・発注システムの説明H-1、購入プロセスの説明H-2、問合せ・FAQの説明H-3、並びにプライバシーポリシーの説明H-4の各画面がユーザ端末5に表示される。これらの説明(説明画面:何れも不図示)は、例えば車両メーカー側サーバ1の記憶装置26に予め登録しておけば良い。

【0208】

【販売代理店側サーバ2にて実行されるソフトウェア】

次に、販売代理店側サーバ2のCPU21により実行されるソフトウェアについて説明する。

【0209】

図20は、本実施形態において販売代理店側サーバ2が実行する制御処理を示すフローチャートである。

【0210】

同図において、ステップS201、ステップS202、ステップS204:見積価格DB35に各仕様項目毎に格納された見積価格についての変更或いは更新の要求が有るか否かを判断し(ステップS201)、当該要求が無い場合にはステップS209に進み、当該要求が有る場合には、当該販売代理店の所定のユーザであるかをIDやパスワードによって判断する(ステップS202)。ステップS202の判断において所定のユーザであると判断されたときには販売代理店側サーバ2へのログインを認めてステップS203に進み、所定のユーザではないと判断されたときにはその旨を警告し(ステップS204)、販売代理店側サーバ2へのログインは認めない。

【0211】

ステップS203、ステップS205:見積価格DB35に現在登録されている当該販売代理店に関する見積価格を一括表示し(ステップS203)、表示された画面における入力操作に応じて、見積価格DB35の登録内容を更新する(ステップS205)。

【0212】

ステップS206、ステップS207:個別仕様車の見積依頼を既に受けたこ

とがあり、その個別仕様車の見積金額を既に提示したことのあるユーザに関して、その見積金額に変更が発生するか否かを、見積価格DB35の更新履歴を参照することによって判断し（ステップS206）、変更が発生しない場合にはステップS209に進み、変更が発生する場合には、当該個別仕様車1台当たりの見積金額の再計算を行う（ステップS207）。

【0213】

ステップS208：個別仕様車の見積金額に変更が発生したこと、並びに変更後の金額を、電子メール（見積結果回答メールC-11）にて該当するユーザ端末に送信する。これにより、選定された所望仕様の商品の見積価格を、人手を介さずに当該ユーザに効率的に提供することができ、当該商品の提供価格の低減にも寄与することができる。

【0214】

ステップS209，ステップS210：車両メーカー側サーバ1からの見積・査定依頼確認メールC-9により、見積及び／または査定依頼が当該販売代理店に要求されたか否かを判断し（ステップS209）、当該要求が無い場合にはステップS211に進み、当該要求が有る場合には、当該メールにより取得した個別仕様を表わす識別情報（仕様番号）に従って、見積価格DB35を参照しながら、個別仕様車1台当たりの見積金額を計算する（ステップS210）。また、ステップS209では、見積・査定依頼確認メールC-9に査定依頼が含まれていた場合、そのメールによって取得した下取車両の仕様項目に従って、その下取車両の査定を行う。この査定は、当該販売代理店の従業員が実際に下取車両を確認して従来通り行っても、予め中古車の相場が設定されているデータベース等を参照することによって自動的に行っても良い。

【0215】

ステップS211：車両メーカー側サーバ1との通信処理を行うことにより、車両メーカー側サーバ1からは、見積価格DB35に対して、メーカー小売価格DB31に格納されている本システムにて選定可能な仕様項目の更新（イコライズ）を受けると共に、販売代理店側サーバ2から車両メーカー側サーバ1には、対象となる顧客（ユーザ端末5のユーザ）についての見積価格を、ステップS205にて

見積価格が更新された場合、或いは購入検討情報一覧画面D-2（図31）または見積事項確認画面D-3（図32）をユーザ端末5に表示すべく、上述した図19のステップS55の処理に応じて車両メーカー側サーバ1より要求された場合に送信する。

【0216】

＜自動車メーカーに見積価格DB35を設ける場合＞

ここで、自動車メーカーに見積価格DB35を設け、車両メーカー側サーバ1にて見積価格を算出する場合について、図36及び図37を参照して説明する。

【0217】

図36は、本実施形態において見積価格DB35を自動車メーカー側に設ける場合における個別仕様車見積・発注システムの全体構成を示す概念図である。

【0218】

同図に示すシステム構成の場合は、図1に示すシステム構成とは異なり、自動車メーカー側には、見積価格DB35が販売代理店毎に用意されており、車両の見積価格が算出されるに際して、車両メーカー側サーバ1によって参照される。

【0219】

また、車両メーカー側サーバ1は、販売代理店に用意された端末からの要求がある場合、或いは、その販売代理店のために予め用意された所定のパスワード（必要な場合には、更に、識別コード）が入力された状態の端末からの要求がある場合に限って、その販売代理店用の見積価格DB35から各仕様項目毎の見積価格を読み出し、それらの見積価格を当該端末に送信すると共に、当該端末における入力操作に従って、当該販売代理店用の見積価格DB35に記憶されている各仕様項目毎の見積価格だけを変更・更新することができる。

【0220】

尚、図36には、複数の見積価格DB35が表されているが、1つのデータベースの内部に販売代理店毎に記憶領域が設けられている構成であっても良い。

【0221】

一方、販売代理店側サーバ2によって見積価格を算出する上記の場合と比較して処理負担が軽減されるため、販売代理店側サーバ2の代わりに、インターネッ

ト3等への通信機能を備える一般的なコンピュータ（販売代理店側端末）2Aが設けられている（尚、図1と同様にサーバコンピュータ（2）を利用することもできる）。販売代理店側端末2Aは、対応する見積価格DB35に記憶されている各仕様項目毎の見積価格の参照（閲覧）・更新を、車両メーカー側サーバ1を介して行なう（車両メーカー側サーバ1にアクセスすることなく、対応する見積価格DB35に直接アクセス可能である場合には、販売代理店側端末2Aから当該データベースの内容を直接参照（閲覧）・更新しても良い）。

【0222】

図37は、本実施形態において車両メーカー側サーバ1にて見積価格を算出する場合の算出処理を示すフローチャートである。この処理（サブルーチン）は、自動車メーカーに見積価格DB35が設けられているシステム構成の場合において、上述した見積・査定依頼処理（図18）のステップS44にて見積要求の有無を判断する代わりに、或いは、販売代理店側サーバ2の制御処理（図20）のステップS201において、見積価格DB35の変更・更新要求の有無を判断する代わりに起動（コール）される。

【0223】

ここで、上述した図1に示すシステム構成では、ユーザ端末5のユーザ（顧客）に関して販売代理店側サーバ2にて算出され、且つ当該ユーザに提示された見積価格及びユーザID毎の見積情報は、その販売代理店側サーバ2にて保存されており、当該ユーザから、後日、見積事項の確認（照会）が要求された場合、或いは見積情報の更新がなされた場合には、当該販売代理店側サーバ2から必要な情報が読み出された後、車両メーカー側サーバ1を介して当該ユーザに再提示された（図19のステップS51～ステップS56、図20のステップS211）。

【0224】

これに対して、図36に示すシステム構成を採用する場合、以下に説明する見積価格算出処理が車両メーカー側サーバ1にて実行されることにより、個々のユーザに対する個別仕様車1台当たりの見積価格が算出され、算出した見積価格は、車両メーカー側サーバ1にて保存される構成であり、ユーザID毎の見積情報も、車両メーカー側サーバ1にて保存される構成となる。そこでこの場合、見積事項確

認処理（M4：図19）において見積事項の確認（照会）が要求された場合、或いは見積情報の更新がなされた場合には、図19のステップS53にて通信処理を行なう代わりに、自サーバにて保存している見積価格または更新された見積情報を読み出し、これら読み出した情報を、ステップS55またはステップS56にて当該ユーザに提示する構成となる。

【0225】

また、図1に示すシステム構成では販売代理店側サーバ2が実行する制御処理（図20）のステップS211にて説明したところの、メーカ小売価格DB31に格納されている本システムにて選定可能な仕様項目の、見積価格DB35に対する更新（イコライズ）は、図36に示すシステム構成において、車両メーカ側サーバ1により、所定のタイミングで適宜自動的に行われる。

【0226】

図37において、ステップS151、ステップS152、ステップS154：見積価格DB35に各仕様項目毎に格納された見積価格についての変更或いは更新の要求が、販売代理店側端末2Aからなされたか否かを判断し（ステップS151）、当該要求が無い場合にはステップS159に進み、当該要求が有る場合には、当該販売代理店の所定のユーザであるかを、IDやパスワード、或いは当該端末自体のIDによって判断する（ステップS152）。ステップS152の判断において所定のユーザであると判断されたときには車両メーカ側サーバ1へのログインを認めてステップS153に進み、所定のユーザではないと判断されたときにはその旨を警告し（ステップS154）、車両メーカ側サーバ1へのログインは認めない。

【0227】

ステップS153、ステップS155：見積価格DB35に現在登録されている当該販売代理店に関する見積価格を販売代理店側端末2Aにて一括表示すべく必要な価格データをその端末に送信し（ステップS153）、当該販売代理店側端末2Aにて表示された画面における入力操作に応じて、車両メーカ側サーバ1にて受信した価格データに従って、対応する販売代理店の見積価格DB35の登録内容を更新する（ステップS155）。

【 0 2 2 8 】

ステップ S 1 5 6, ステップ S 1 5 7 : 個別仕様車の見積依頼を既に受けたことがあり、その個別仕様車の見積金額を既に提示したことのあるユーザに関して、その見積金額に変更が発生するか否かを、見積価格 D B 3 5 の更新履歴を参照することによって判断し (ステップ S 1 5 6)、変更が発生しない場合には本サブルーチンを終了し、変更が発生する場合には、当該個別仕様車 1 台当たりの見積金額の再計算を行うと共に、車両メーカー側サーバ 1 の不図示の記憶装置 (他のデータベースでも良い) に既に記憶されている見積金額を、再計算によって得られた見積金額に更新する (ステップ S 1 5 7)。

【 0 2 2 9 】

ステップ S 1 5 8 : 個別仕様車の見積金額に変更が発生したこと、並びに変更後の金額を、当該販売代理店側端末 2 A に送信すると共に、必要に応じて、電子メール (見積結果回答メール C - 1 1) にて該当するユーザ端末に送信する。本ステップにおいて、上記の電子メールをユーザ端末 5 に送信する際には、当該販売代理店を特定するアドレスが発信元に設定された電子メールを送信する。これにより、選定された所望仕様の商品の見積価格を、人手を介さずに当該ユーザに効率的に提供することができ、当該商品の提供価格の低減にも寄与することができる。

【 0 2 3 0 】

ステップ S 1 5 9 : 見積が要求されており、且つ見積のための入力情報が本サブルーチンに渡されたか否かを判断し、これらの条件を満足している場合にはステップ S 1 6 0 に進み、そうでない場合には本サブルーチンを終了する。

【 0 2 3 1 】

ステップ S 1 6 0 : 取得した入力情報に含まれる個別仕様を表わす識別情報 (仕様番号) に従って、見積を要求している販売代理店に対応する見積価格 D B 3 5 を参照しながら、個別仕様車 1 台当たりの見積金額を計算する。

【 0 2 3 2 】

ステップ S 1 6 1 : ステップ S 1 6 0 にて算出された個別仕様車 1 台当たりの見積価格のデータを、顧客情報 (ユーザ I D) 及び個別仕様を表わす識別情報等

の情報と関連付けした状態で、車両メーカー側サーバ1の不図示の記憶装置（他のデータベースでも良い）に記憶すると共に、対象となる販売代理店側端末2A及び／または顧客（ユーザ端末5のユーザ）に送信する。本ステップにおいて、見積価格等のデータをユーザ端末5に直接送信する場合には、当該販売代理店を特定するアドレスが発信元に設定された電子メールにより、係るデータを送信する。

【0233】

図36に示すシステム構成を採用し、上述した図37に示すフローチャートの処理を車両メーカー側サーバ1にて行なう場合は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムを導入するに際して、販売代理店側に特別なハードウェア及びソフトウェアを予め用意する必要が無いので、最小限の時間とコストで当該システムの運用を開始することができ、更に、運用開始後のシステム管理も容易であるという効果がある。

【0234】

上述した本実施形態によれば、自動車メーカーが供給可能な個別仕様車の仕様項目の中から、所望の仕様を、ユーザ自身がゲーム感覚で容易且つ楽しく、インタラクティブに選定可能にすることができ、自動車の購入に際して新たなエンターテインメント性を見いだすことができる。

【0235】

また、選定された所望仕様の個別仕様車の見積価格を、当該ユーザに効率的に提供することができ、生産台数が少ない個別の仕様車（特定車両）であるにも関わらず比較的安価な価格でユーザに提供することができると共に、販売代理店及び自動車メーカーにとっては、業務の効率化を図ることができる。

【0236】

尚、上述した本実施形態では、仕様選定及び発注を行う商品として自動車を例に挙げて説明したが、本発明は自動車等の車両に限られるものではなく、量産可能であって複数種類の仕様或いはオプション装備を設定可能な工業製品（例えば、電気製品やプレハブ住宅等）に広く適用して好適である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態における個別仕様車見積・発注システムの全体構成を示す概念図である。

【図 2】

本実施形態における車両メーカー側サーバ 1、販売代理店側サーバ 2、及びユーザ端末 5 の内部構成を例示するブロック図である。

【図 3】

本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムにおいて実行される処理モジュールの機能体系を示す図である。

【図 4】

イニシャル処理 (M1) と車両仕様選定処理 (M2) における表示画面の遷移を示す図である。

【図 5】

見積・査定依頼処理 (M3) における表示画面の遷移と、見積・査定の依頼に伴う電子メールの送信機能を示す図である。

【図 6】

見積事項確認処理 (M4) における表示画面の遷移を示す図である。

【図 7】

クレジット審査処理 (M5) 及び商談申し込み処理 (M6) とにおける表示画面の遷移と、クレジット審査及び商談申し込みに伴う電子メールの送信機能とを示す図である。

【図 8】

納期照会処理 (M7) 及びインストラクション処理 (M8) における表示画面の遷移と、納期照会に伴う電子メールの送信機能とを示す図である。

【図 9】

車両仕様選定処理 (M2) において車種 A (スポーツタイプ) のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 10】

車両仕様選定処理 (M2) において車種 A (スポーツタイプ) のインテリアを

選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 1 1】

車両仕様選定処理 (M 2) において車種 A (スポーツタイプ) のオーディオを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 1 2】

車両仕様選定処理 (M 2) において車種 B (ワゴンタイプ) のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 1 3】

車両仕様選定処理 (M 2) において車種 B (ワゴンタイプ) のインテリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 1 4】

車両仕様選定処理 (M 2) において車種 B (ワゴンタイプ) のエクステリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 1 5】

本実施形態において、車両メーカー側サーバ 1 のサービスを受けるユーザ端末 5 が実行するソフトウェアのフローチャートである。

【図 1 6】

本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 が実行する各処理モジュールに共通のウィンドウ画面表示処理を示すフローチャートである。

【図 1 7】

本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 が実行する処理の全体概要を示すフローチャートである。

【図 1 8】

車両メーカー側サーバ 1 において行われる見積・査定依頼処理 (M 3) を示すフローチャートである。

【図 1 9】

車両メーカー側サーバ 1 において行われる見積事項確認処理 (M 4) を示すフローチャートである。

【図 2 0】

本実施形態において販売代理店側サーバ 2 が実行する制御処理を示すフローチャートである。

【図 2 1】

車両メーカー側サーバ 1 において行われる納期照会処理 (M 7) を示すフローチャートである。

【図 2 2】

本実施形態における納期ステータス照会画面 G - 2 を例示する図である。

【図 2 3】

本実施形態におけるホームページ画面であるトップ画面 A - 1 を例示する図である。

【図 2 4】

本実施形態におけるホーム画面 A - 2 を例示する図である。

【図 2 5】

車両仕様選定処理 (M 2) が表示する車両仕様選定画面 (B - 1 乃至 B - 1 5) のフォーマットを例示する図である。

【図 2 6】

図 2 5 に示す「明細」ボタンが操作された場合に表示されるメーカー希望小売価格の明細画面を例示する図である。

【図 2 7】

車両仕様選定処理 (M 2) が表示する選定仕様表示画面 B - 1 5 を例示する図である。

【図 2 8】

本実施形態における見積請求トップ画面 C - 1 を例示する図である。

【図 2 9】

本実施形態における査定申込入力画面 C - 2 を例示する図である。

【図 3 0】

本実施形態における ID ・ パスワード入力画面 D - 1 を例示する図である。

【図 3 1】

本実施形態における購入検討情報一覧画面 D - 2 を例示する図である。

【図 3 2】

本実施形態における見積事項確認画面 D-3 を例示する図である。

【図 3 3】

本実施形態における借入条件入力画面 E-1 を例示する図である。

【図 3 4】

本実施形態における返済計画表示画面 E-2 を例示する図である。

【図 3 5】

本実施形態における商談申し込み入力画面 F-1 を例示する図である。

【図 3 6】

本実施形態において見積価格 DB 35 を自動車メーカー側に設ける場合における個別仕様車見積・発注システムの全体構成を示す概念図である。

【図 3 7】

本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 にて見積価格を算出する場合の算出処理を示すフローチャートである。

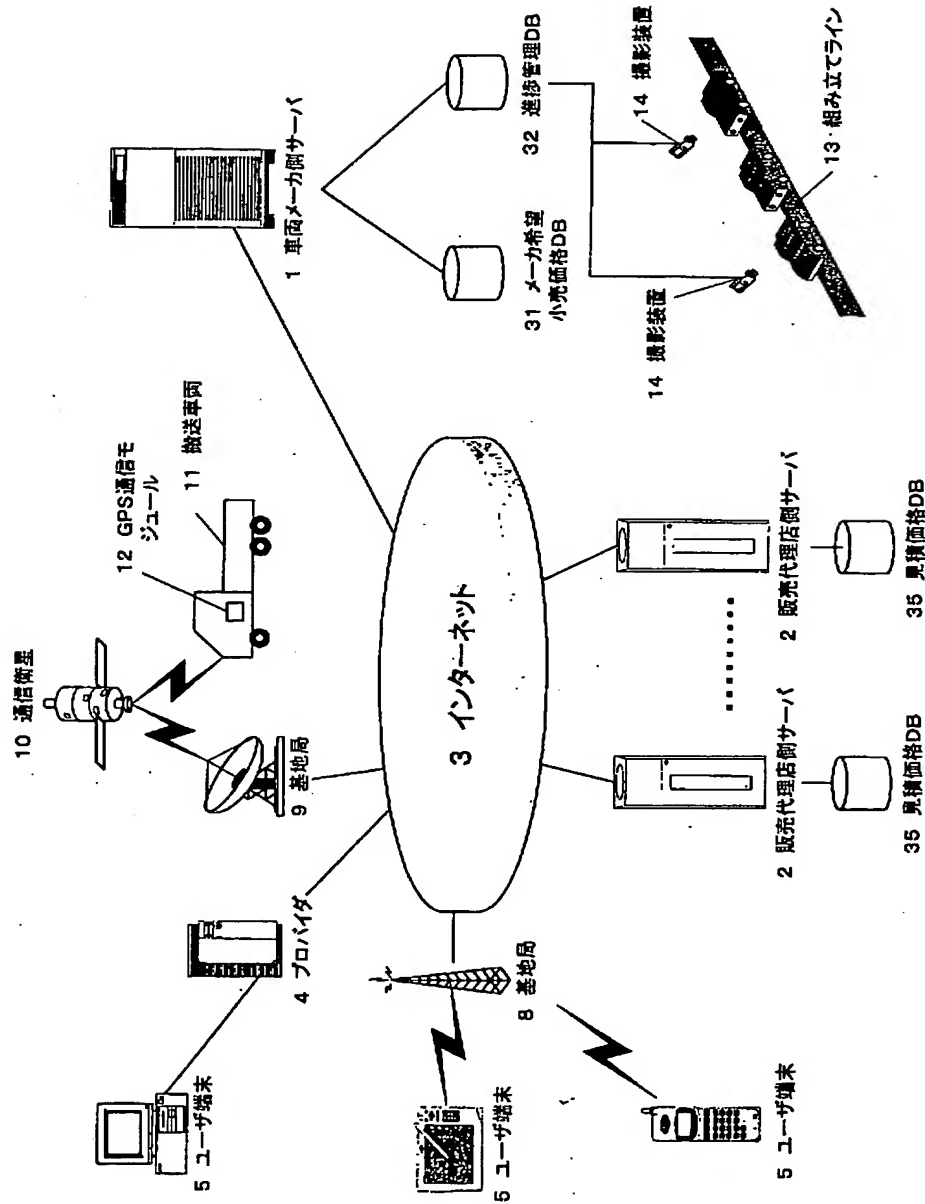
【符号の説明】

- 1 : 車両メーカー側サーバ,
- 2 : 販売代理店側サーバ,
- 2 A : 販売代理店側端末,
- 3 : インターネット,
- 4 : プロバイダ,
- 5 ~ 7 : ユーザ端末,
- 8, 9 : 基地局,
- 10 : 通信衛星,
- 11 : 搬送車両,
- 12 : GPS 通信モジュール,
- 13 : 組み立てライン,
- 14 : 撮影装置,
- 21 : CPU,
- 22 : ディスプレイ,

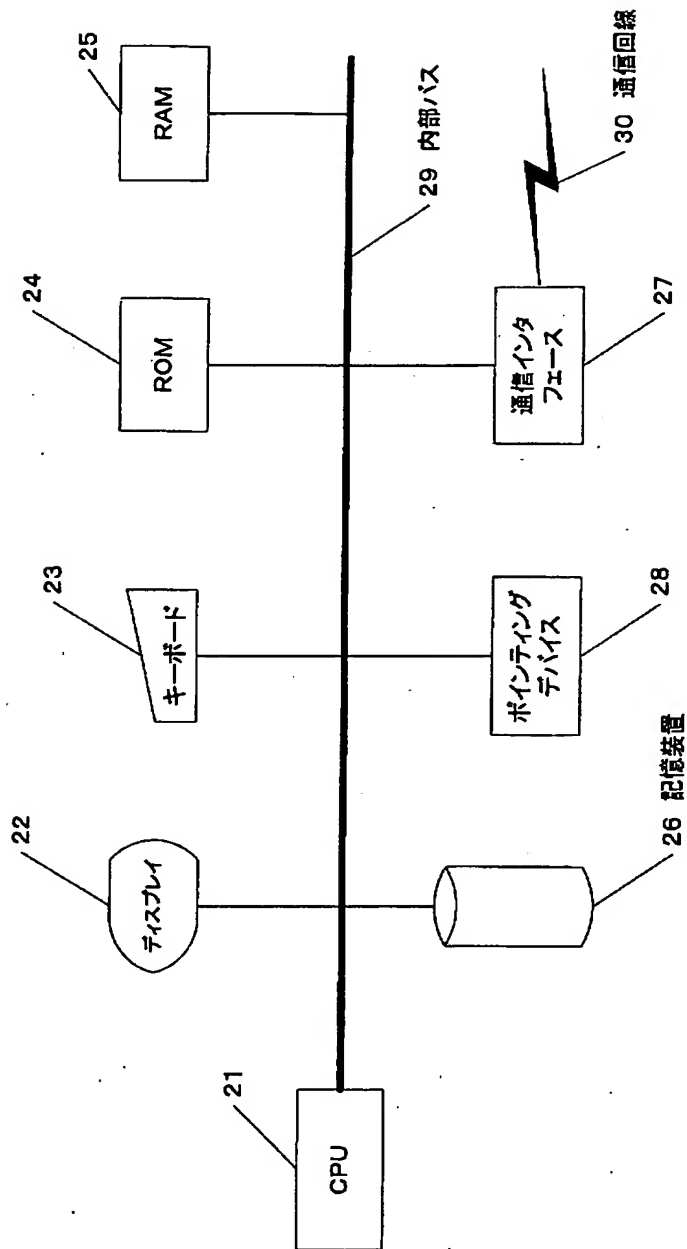
- 2 3 : キーボード,
- 2 4 : R O M,
- 2 5 : R A M,
- 2 6 : 記憶装置,
- 2 7 : 通信インタフェース,
- 2 8 : ポインティング・デバイス,
- 2 9 : 内部バス,
- 3 0 : 通信回線,
- 3 1 : メーカー希望小売価格 D B,
- 3 2 : 製造進捗管理 D B,
- 3 5 : 見積価格 D B,

【書類名】 図面

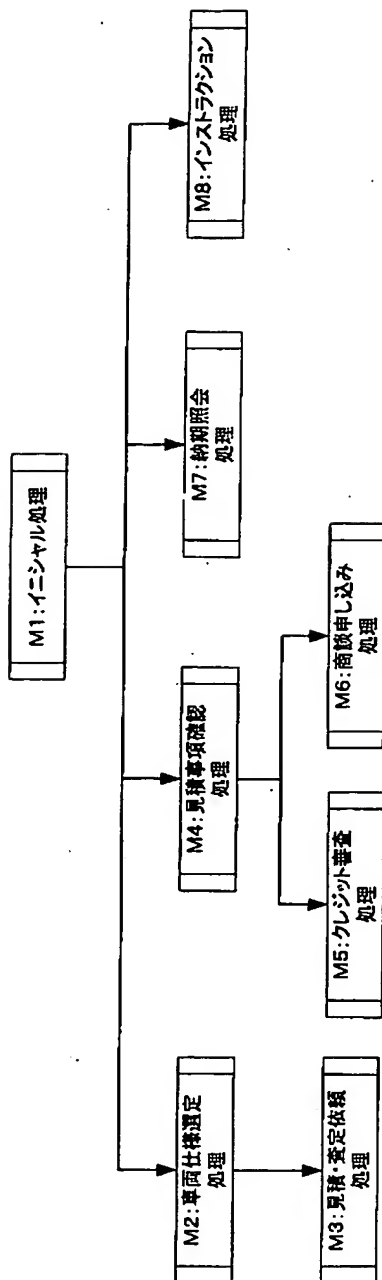
【図 1】



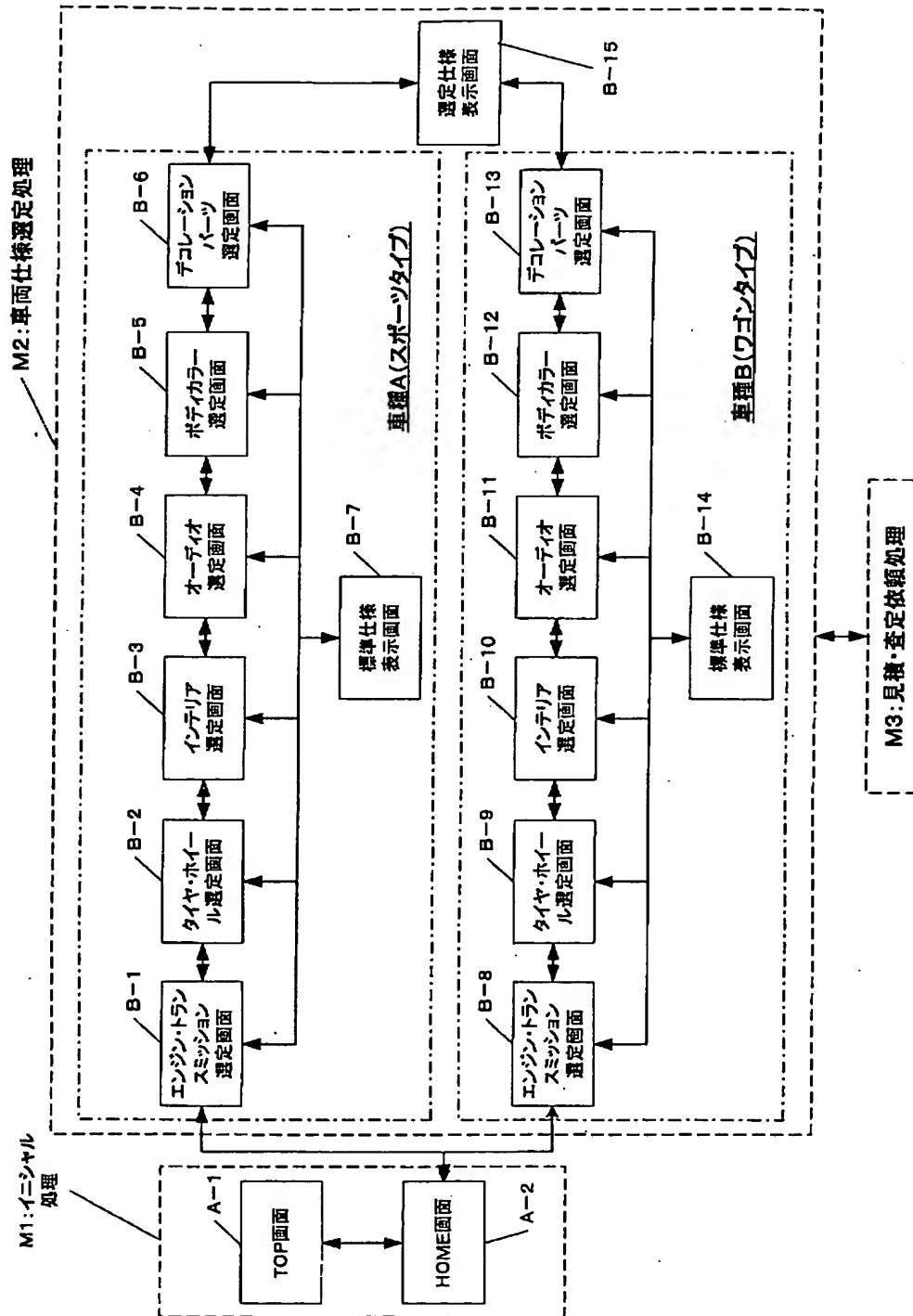
【図 2】



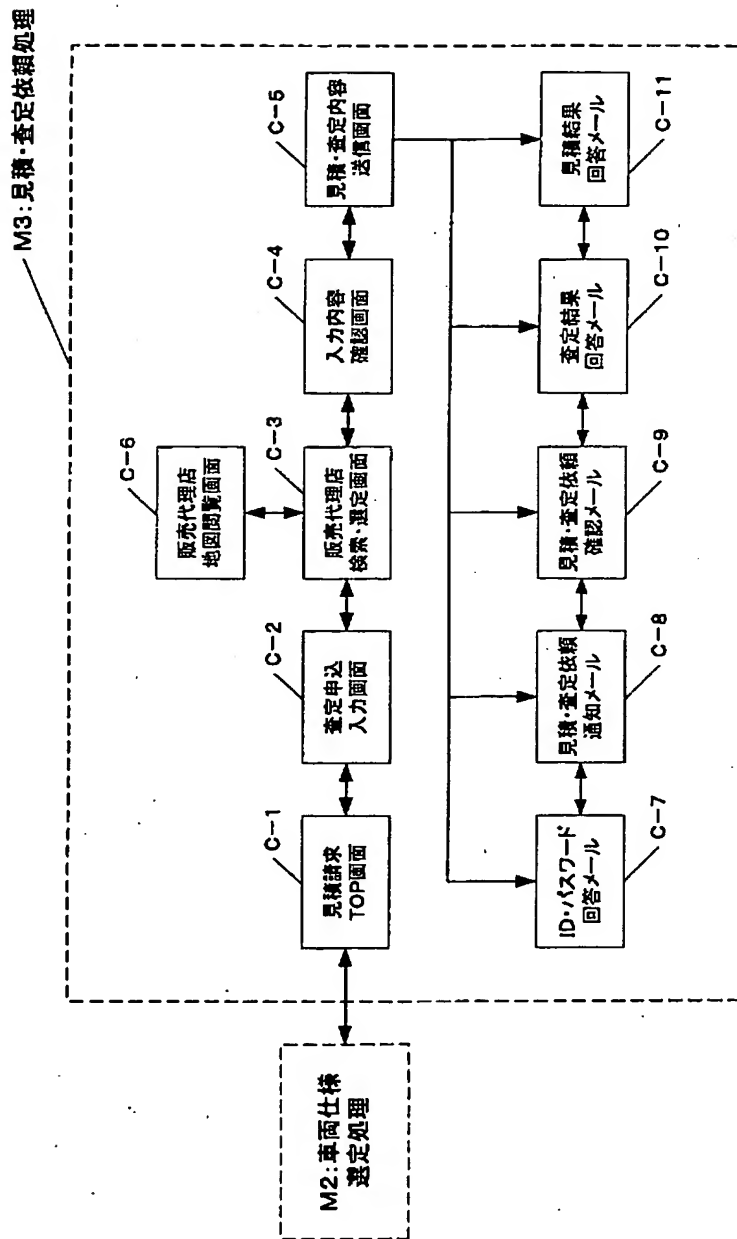
【図 3】



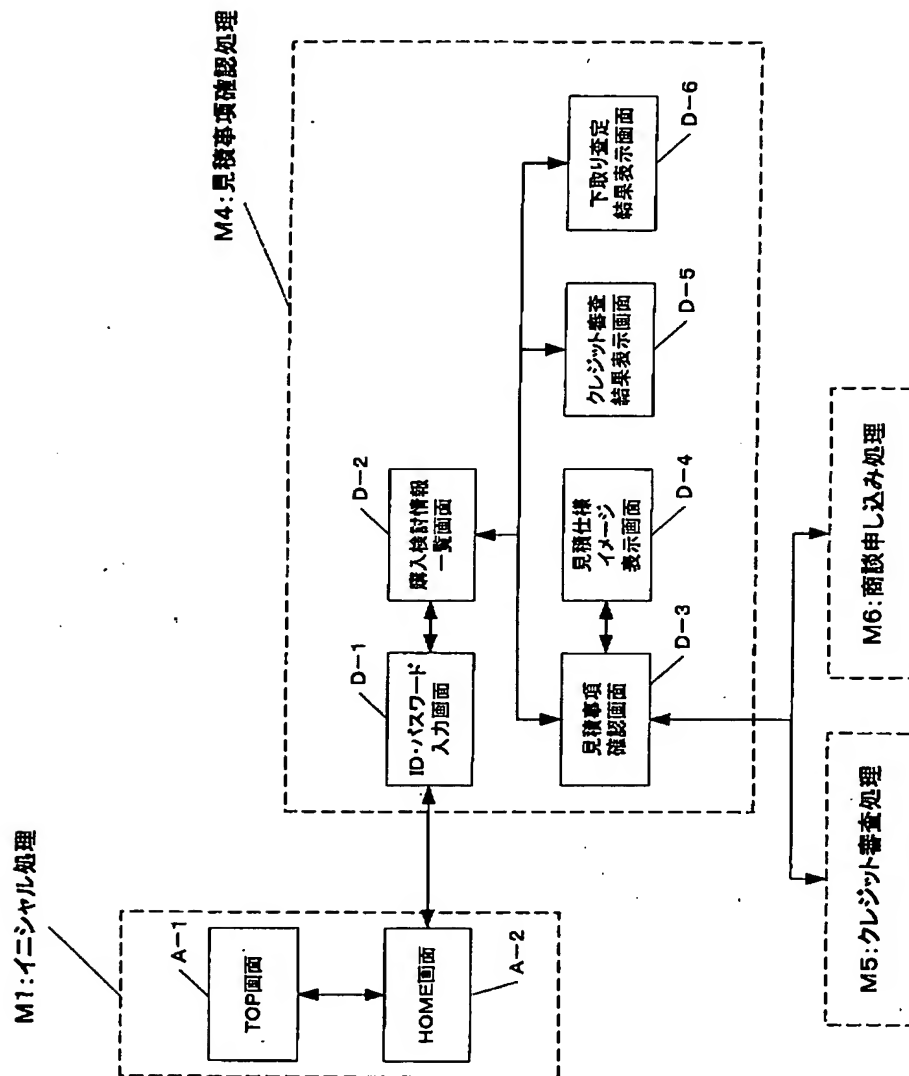
【図4】



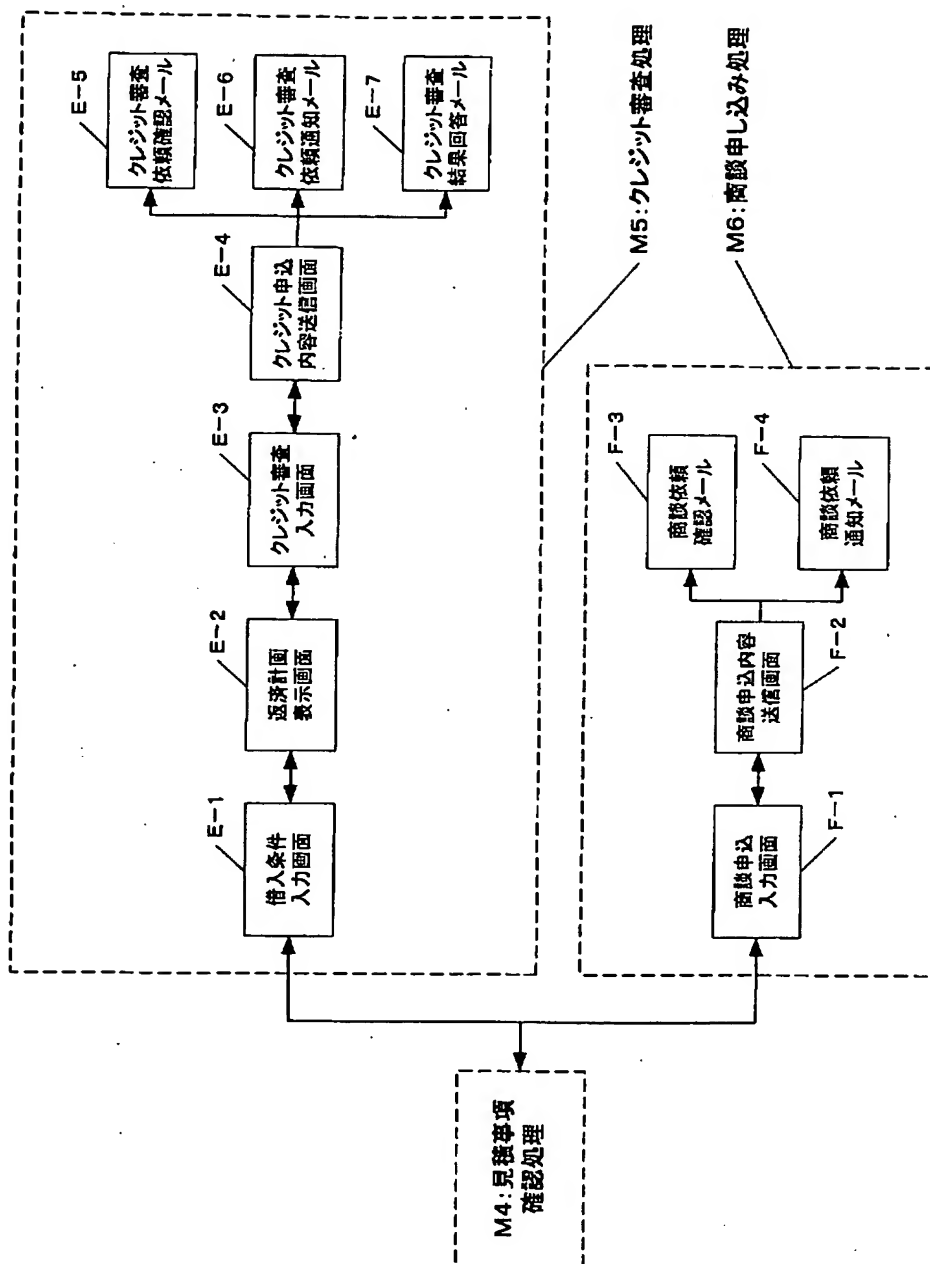
【図 5】



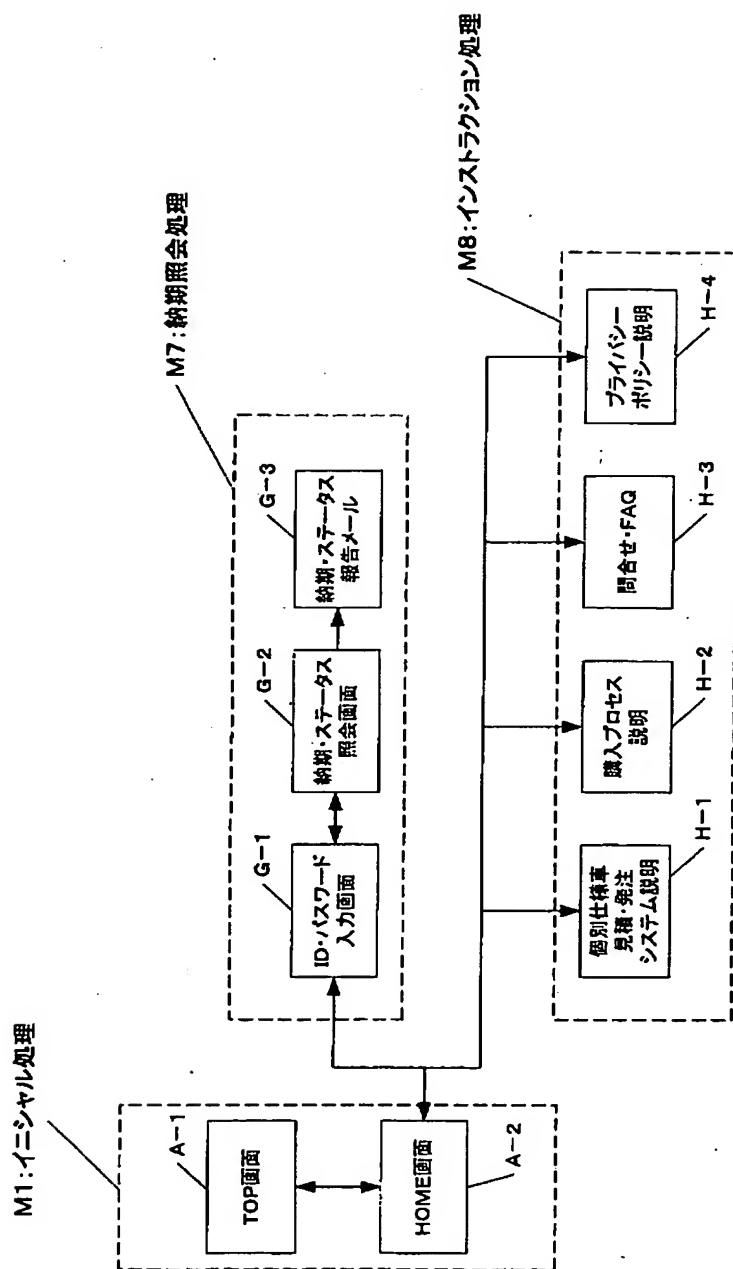
【図 6】



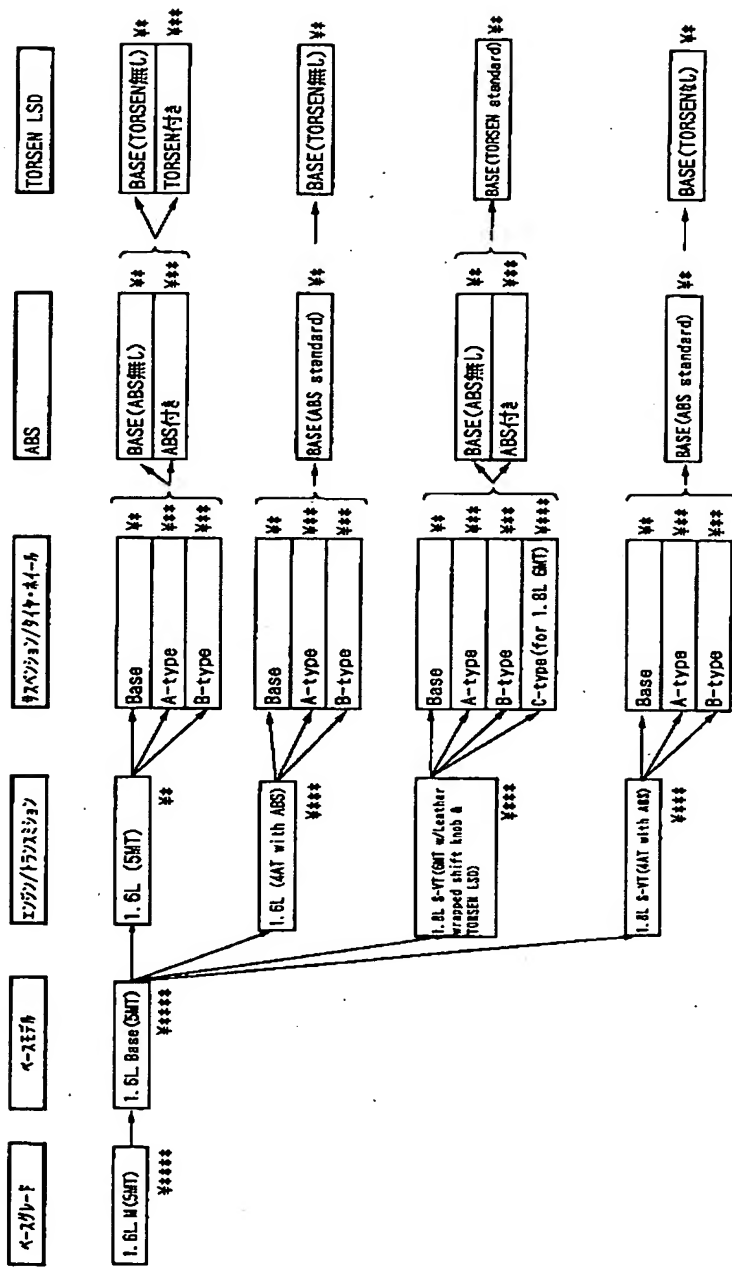
【図 7】



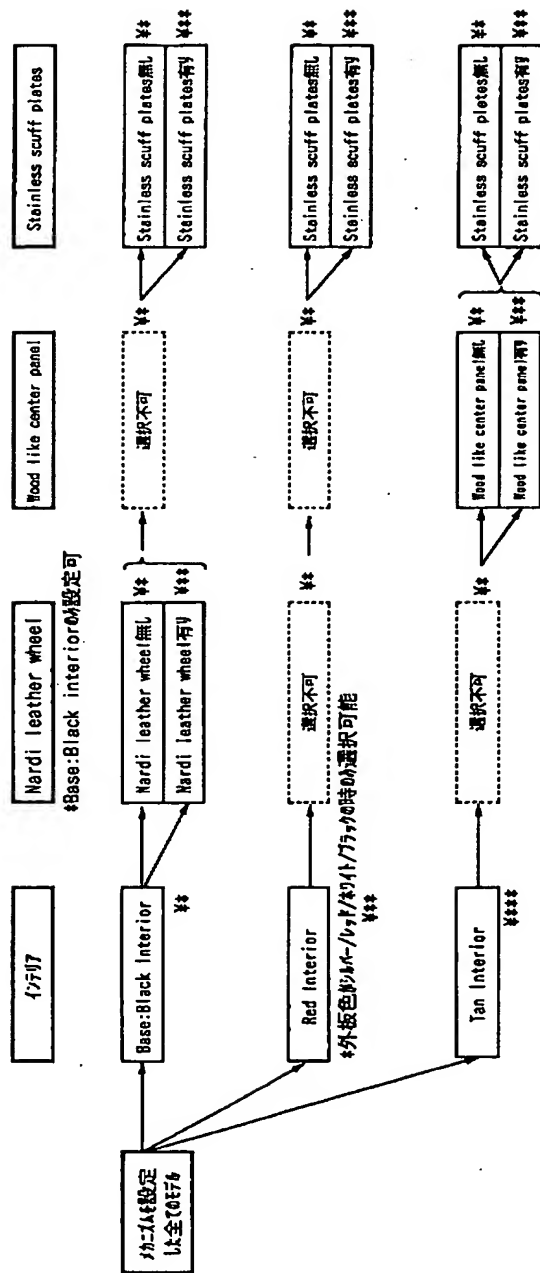
【図 8】



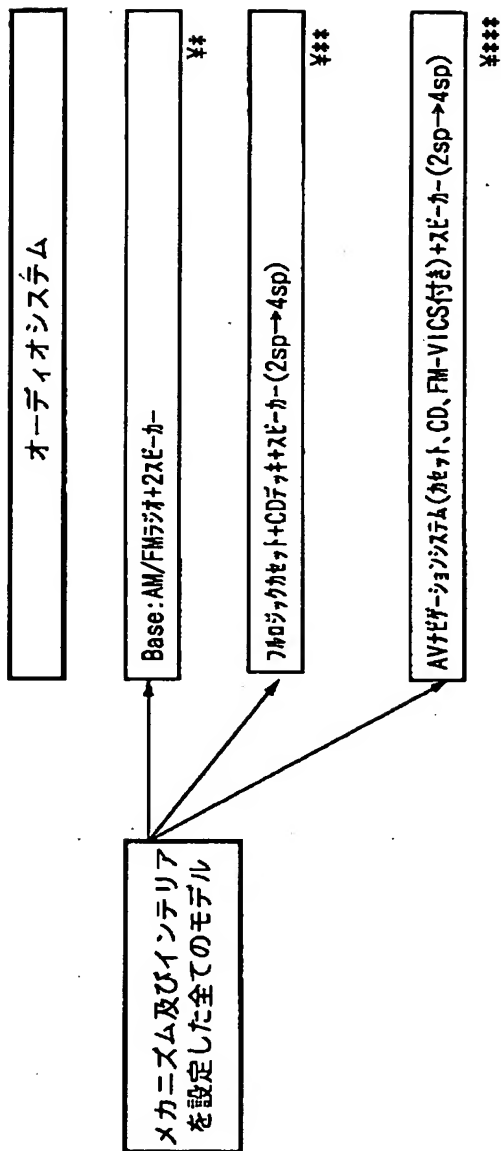
【図 9】



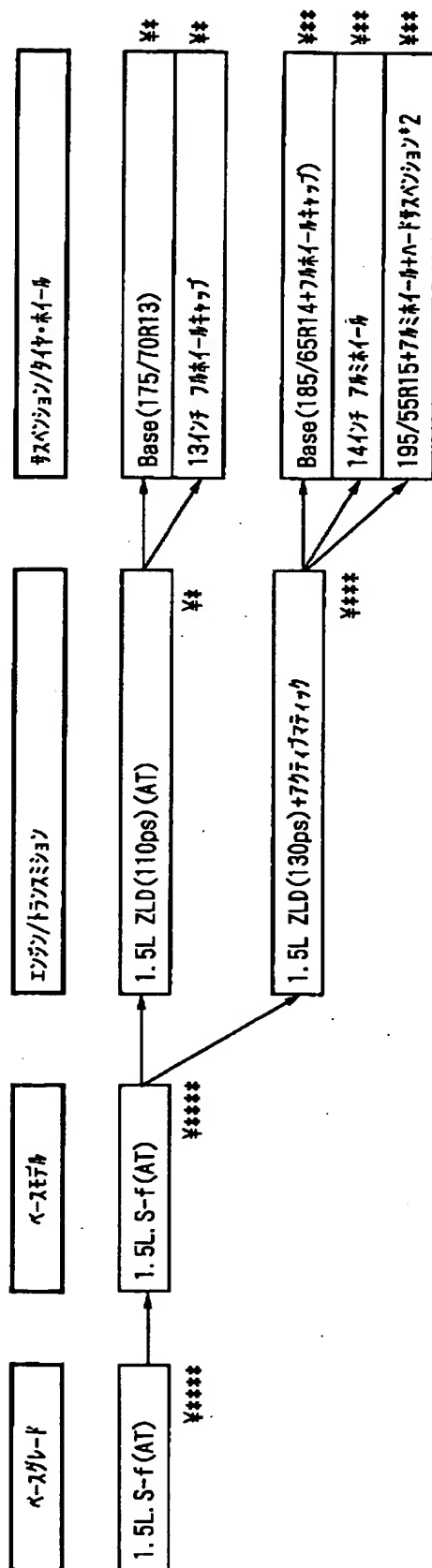
【図 10】



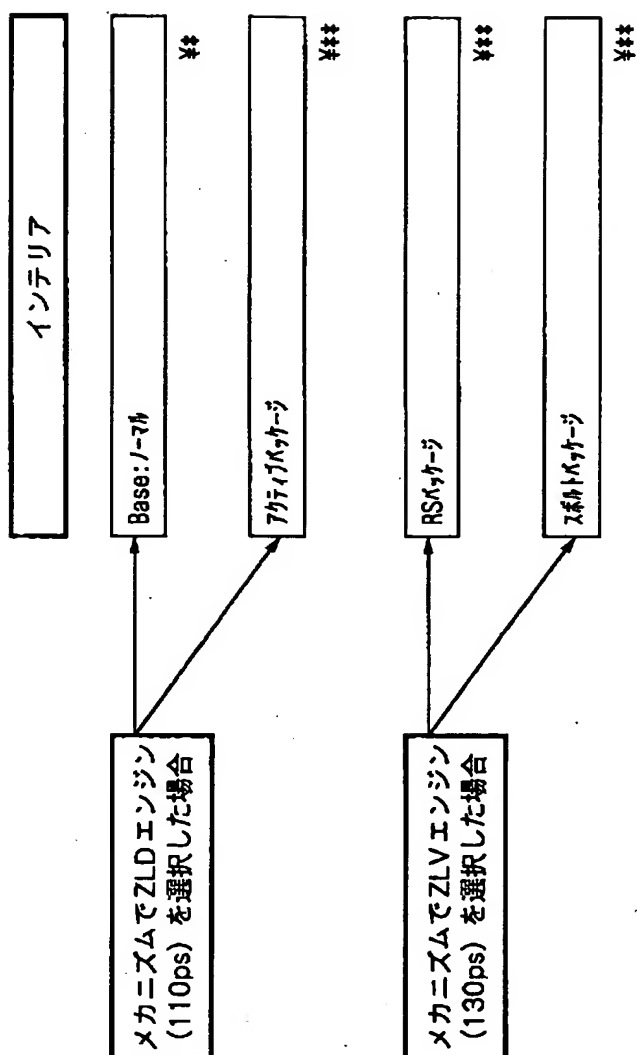
【図 1 1】



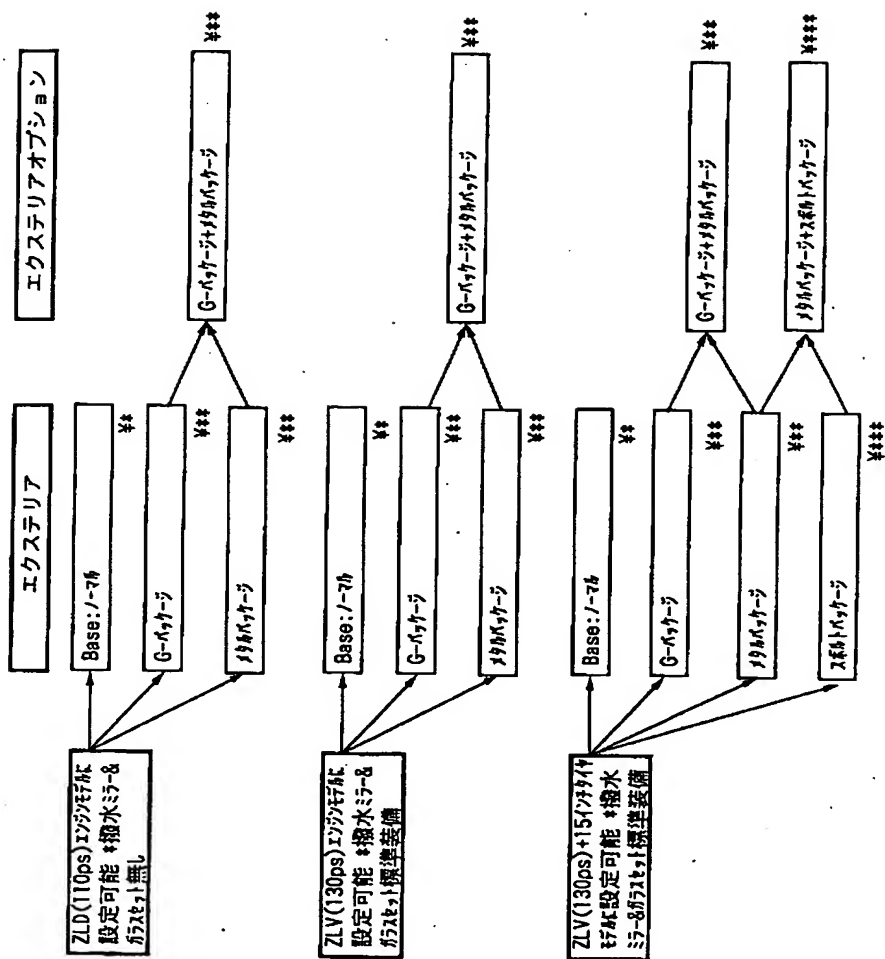
【図 1 2】



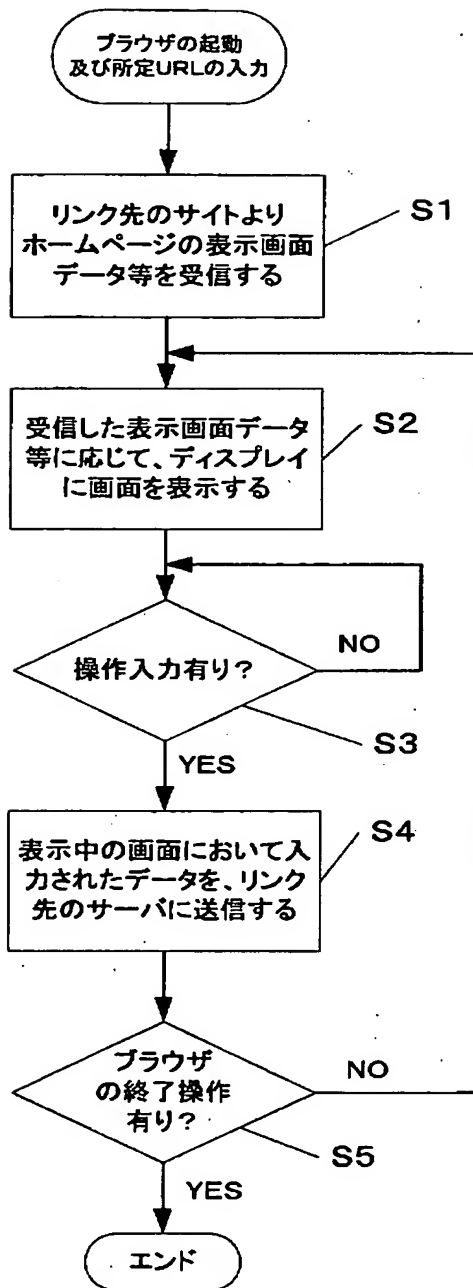
【図 13】



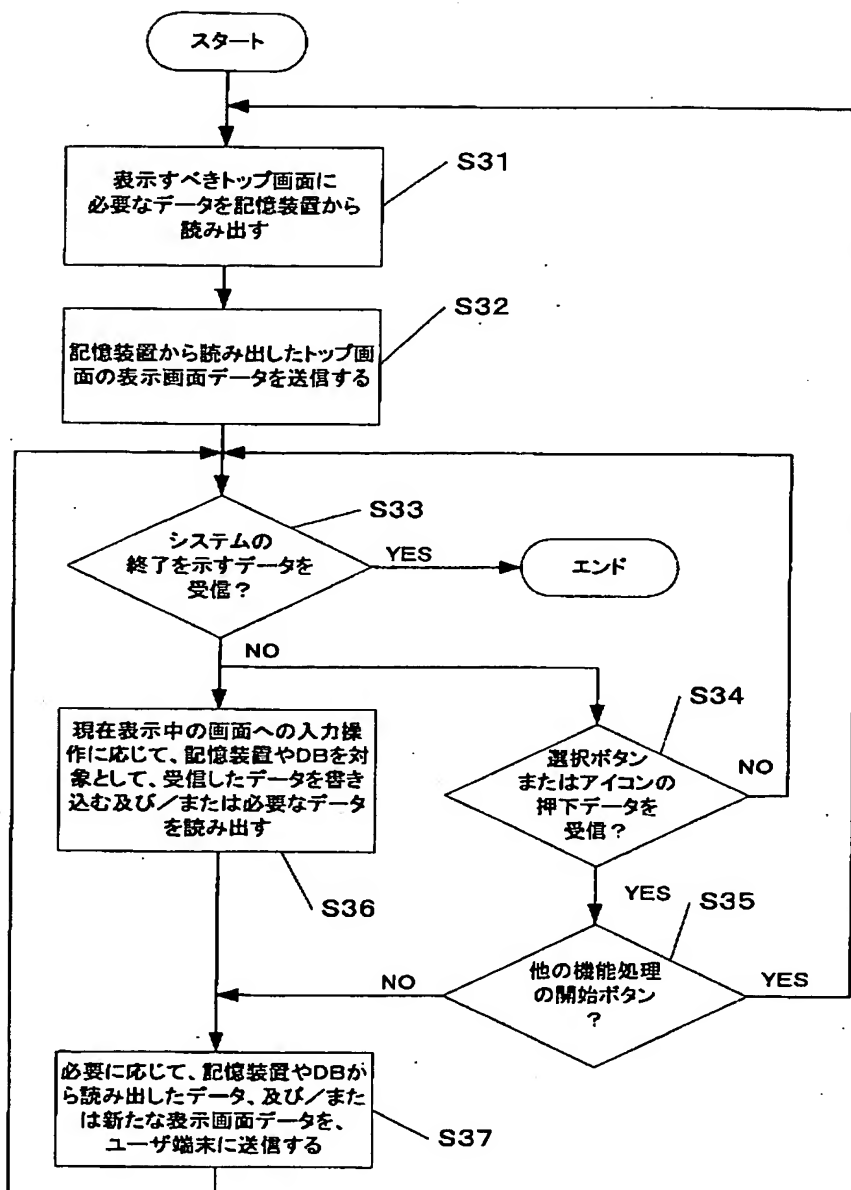
【図 14】



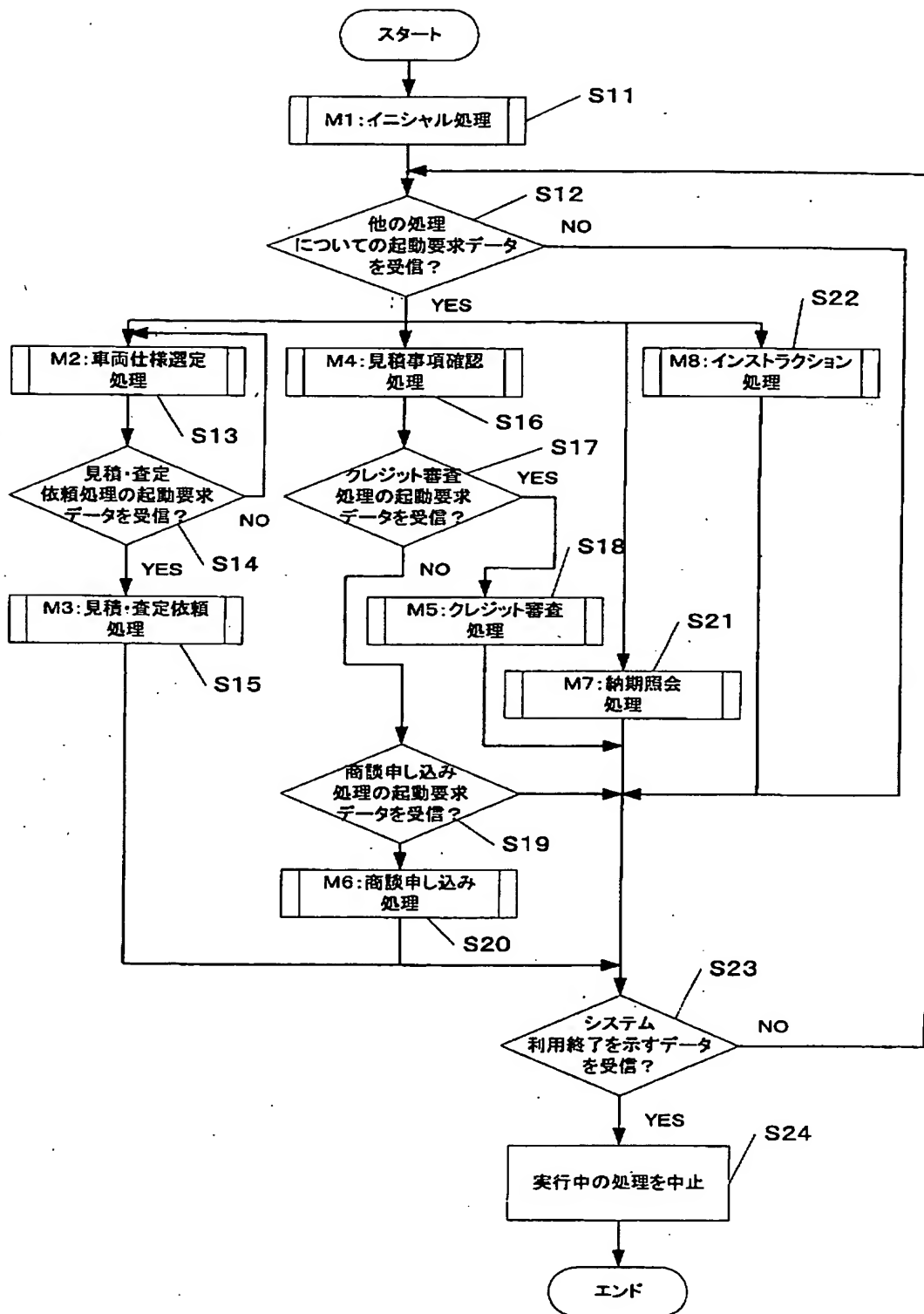
【図 1 5】



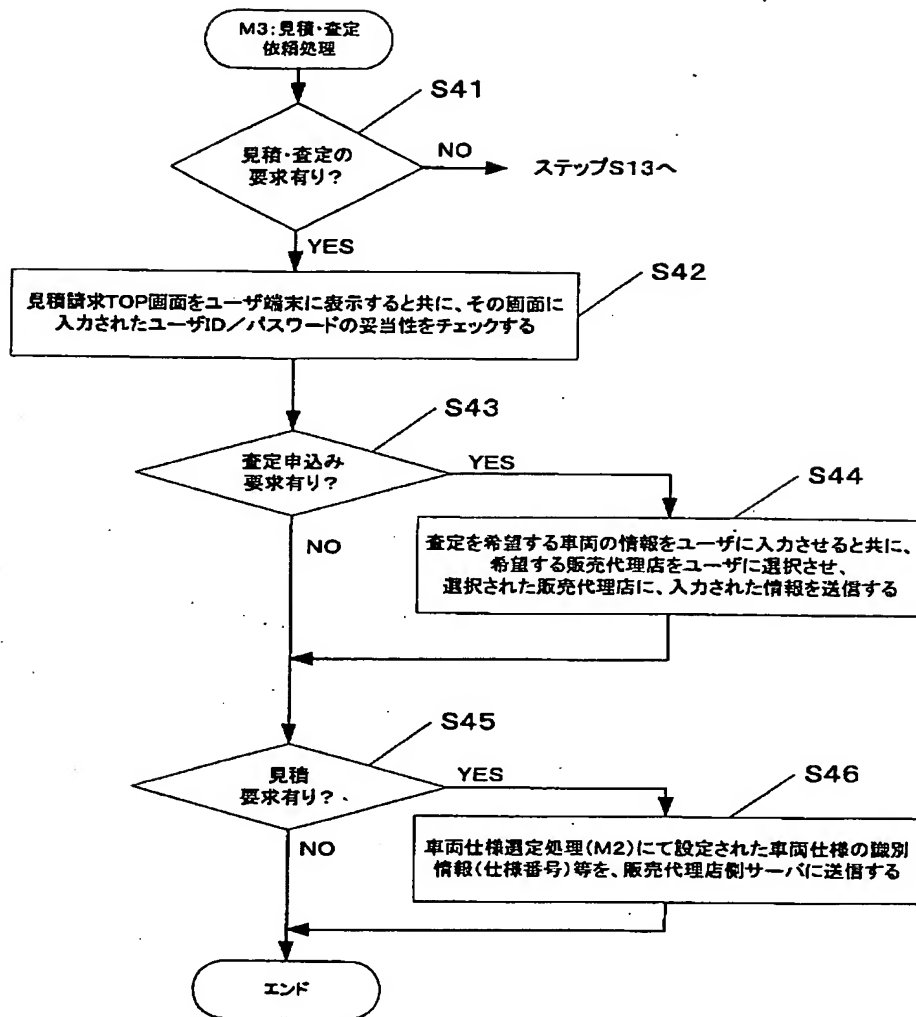
【図 16】



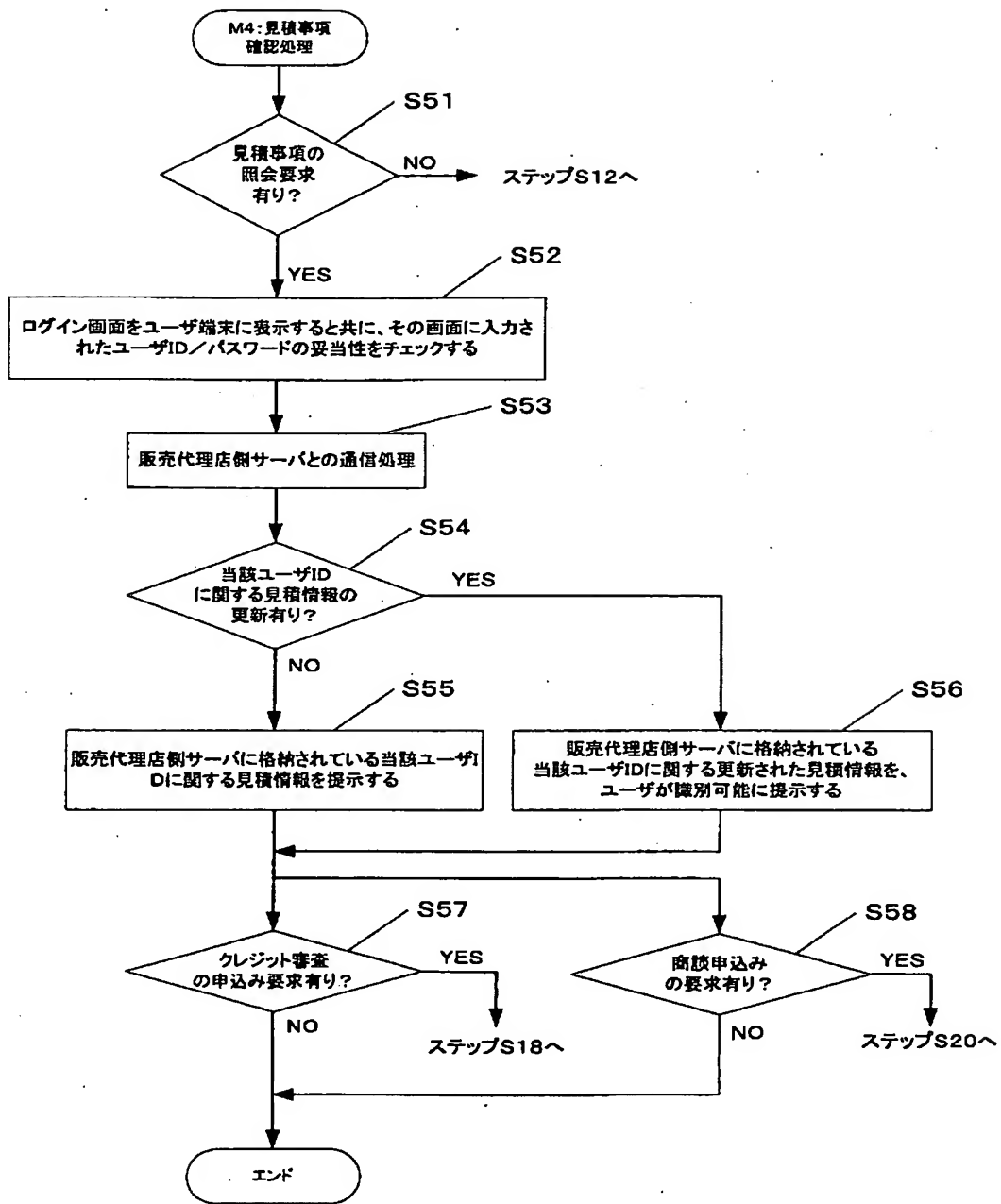
【図 17】



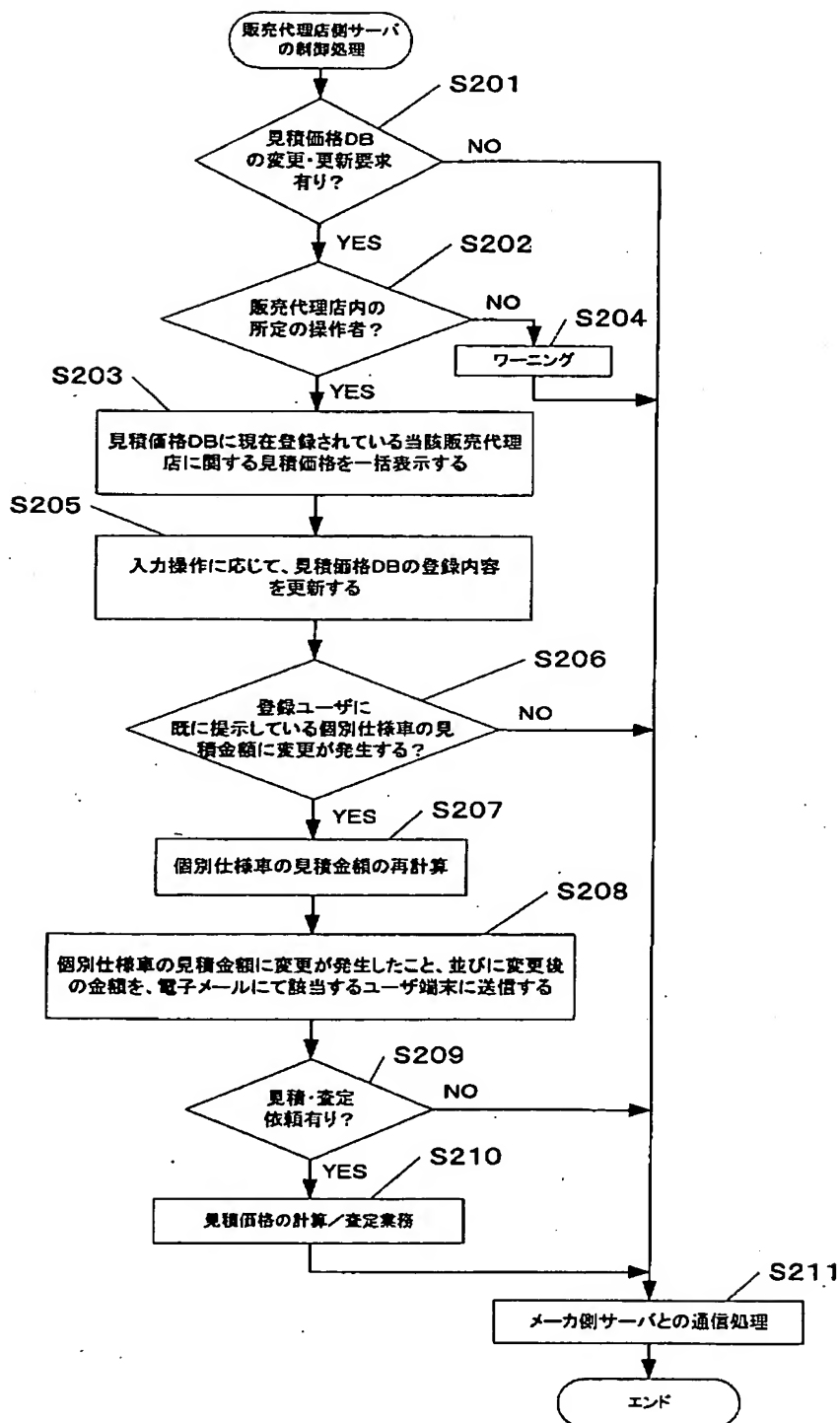
【図18】



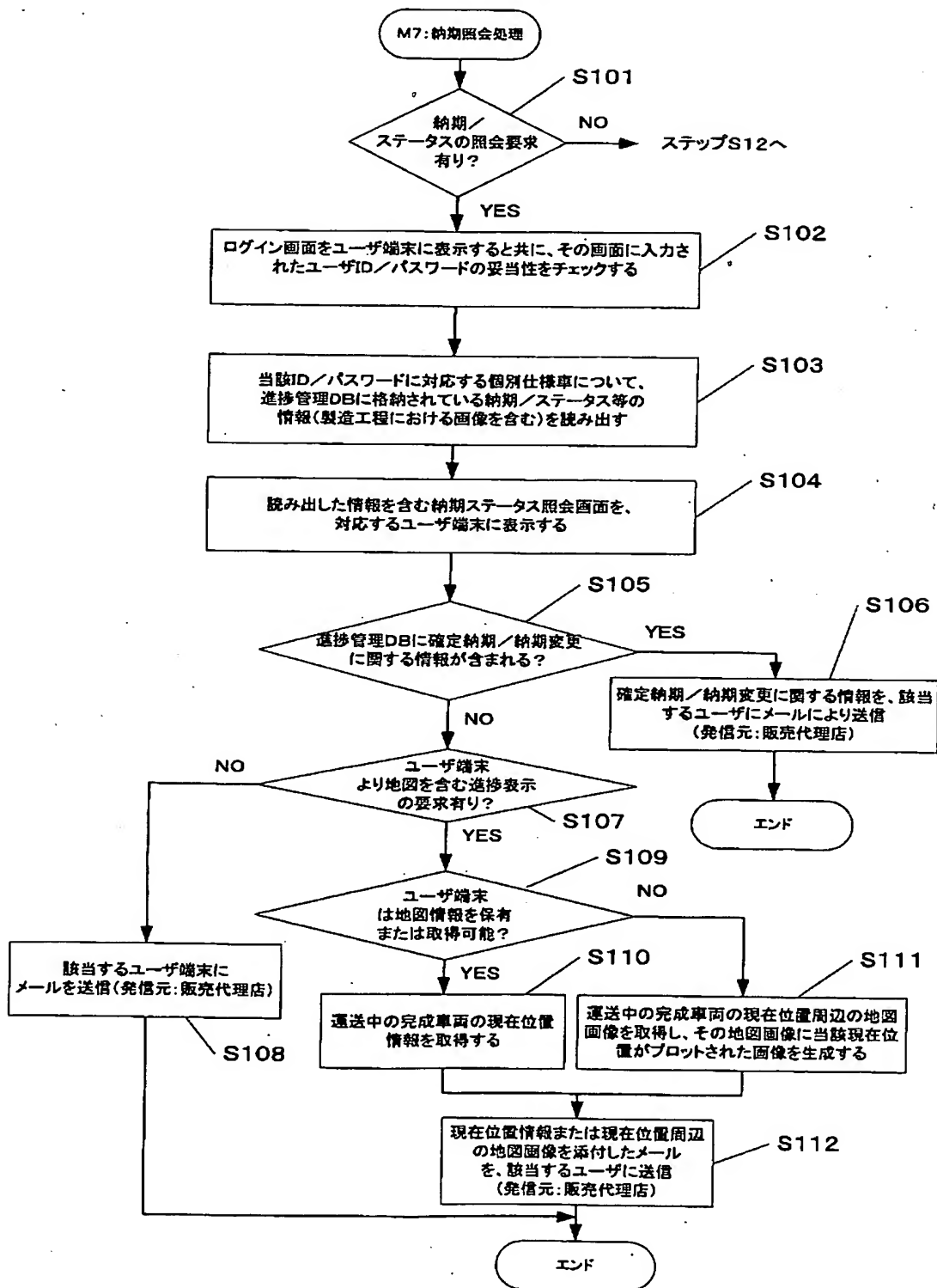
【図 19】







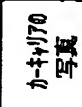










【図 20】



【図 21】



【図 2 2】

車両ステータス納期照会											
〇〇 様		車種 A(スポーツタイプ) 1.6L(SMT) クラシックレッド 販売車種コード: AABBCDD				契約販売会社: AA販売BB支店					
↑		↑		↑							
↑		↑		↑							
↑		↑		↑							
↑		↑		↑							
↑		↑		↑							
2001.2.1		2001.2.1		2001.2.1		2001.2.1		2001.2.1		2001.2.1	

(現在〇〇様のお車は流通センター入庫中です。)

(注意)
この車両ステータス納期照会は販売会社にて契約後、メーカーにオーダーされるまでは表示されません
詳細については契約された販売会社にお問合わせください。

戻る

【図 23】

個別仕様車見積・発注システム				
取り扱い車両の写真				
サイトの概説 ----- ----- -----				
Enter				

【図 2 4】

個別仕様車見積・発注システム

このサイトについて

ご購入手順

ご購入検討一覧

ご購入車両納期照会

カスタマイズしたいクルマをクリックしてください

車種 A(スポーツタイプ)

車種 B(ワゴンタイプ)

- ・ご購入手順説明 & 一時保存など便利機能の説明
- ・コミュニティへの入口 (売れ筋ランキング、購入者の声)
- ・商談申込ボタン
- ・ご購入車両納期照会

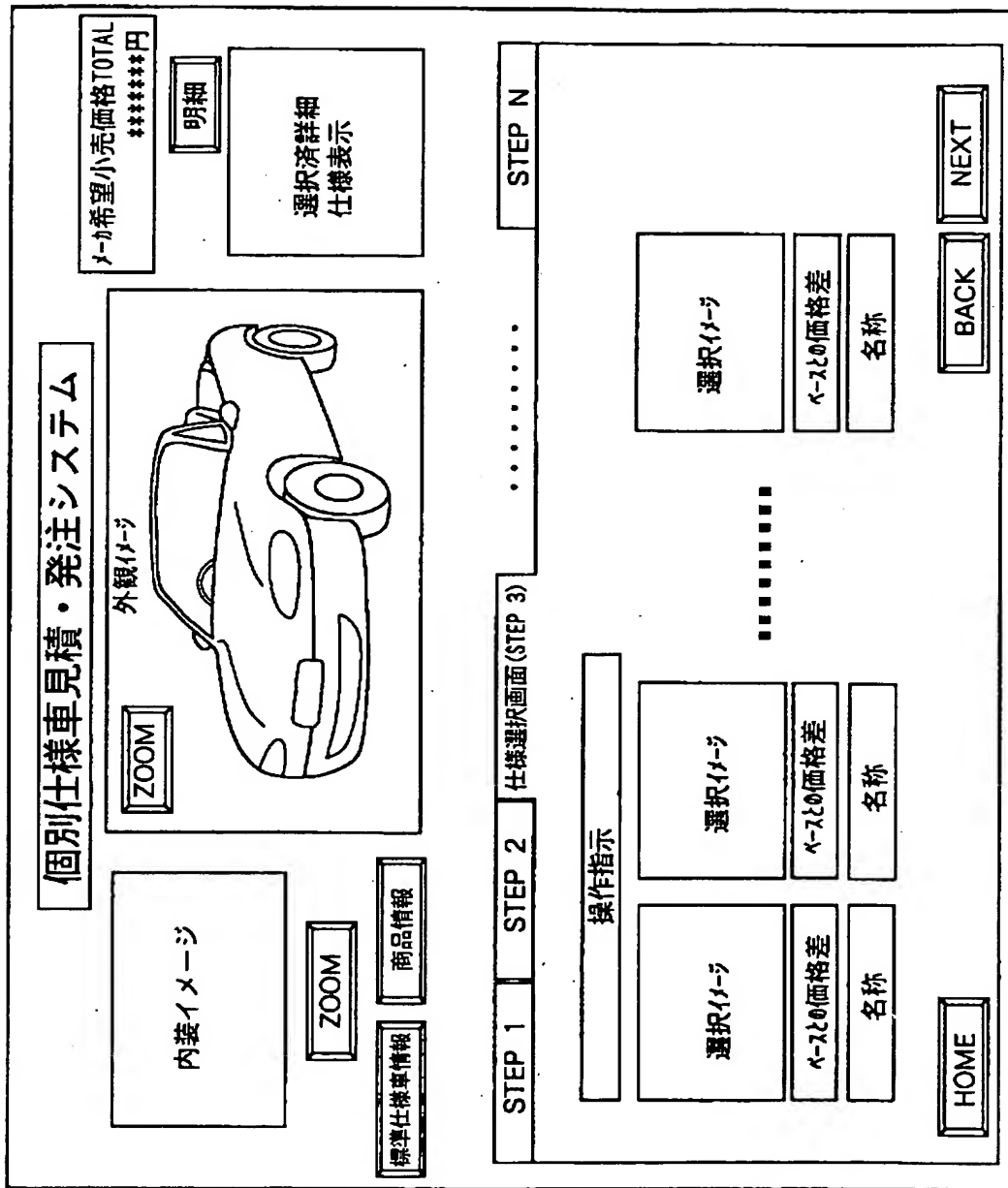
車両メーカー公式サイト

TOP 画面


プライバシーポリシー

お問い合わせ

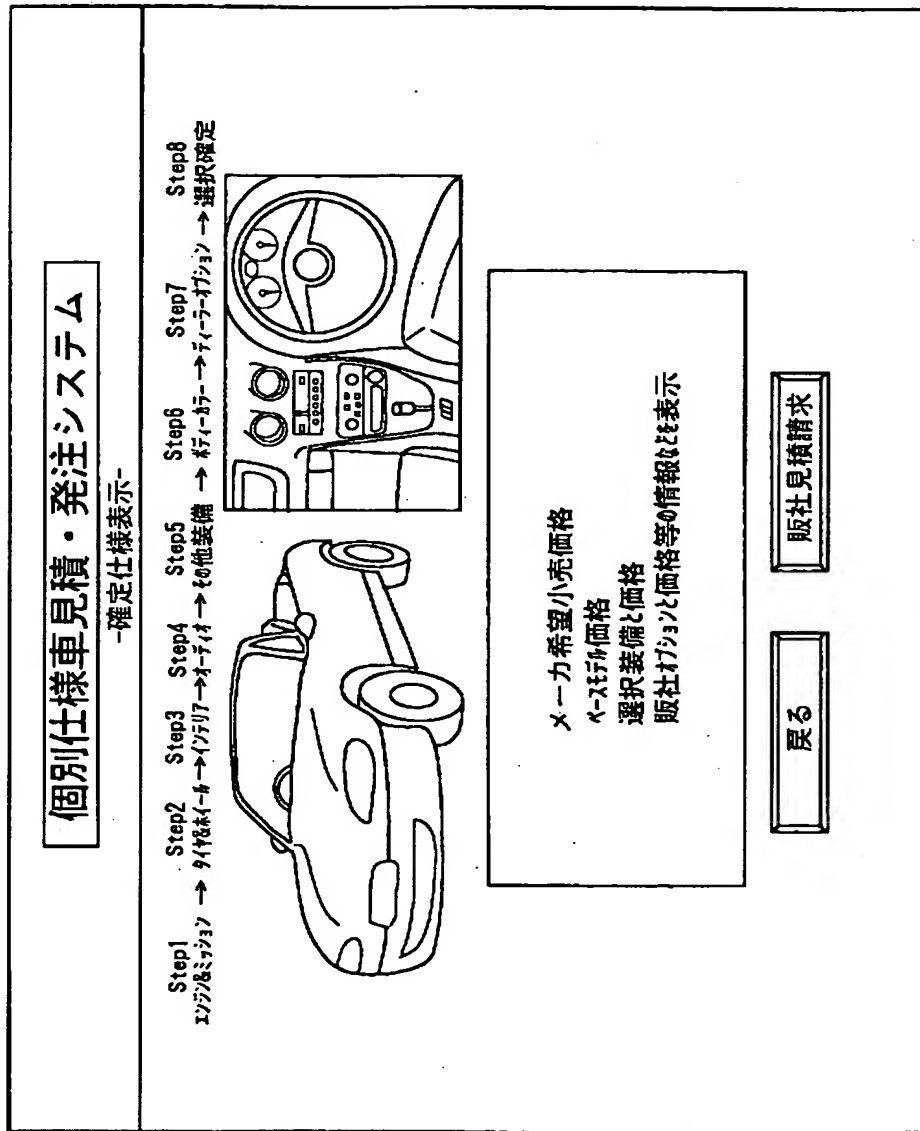
【図 25】



【図 26】

メ-カ希望小売価格TOTAL		*****円
メ-カ装備計		*****円
ベースモデル		*****円
エンジン&ミッション		
1.6L(125PS)& 4AT ABS 付		+*****円
サスペンション/タイヤ&ホイール		
185/60R14& alloy wheel		+*****円
エクステリア(塗装色) 		+*****円
フォグランプ		
パワーミラー		+*****円

【図 27】



【図28】

個別仕様車見積・発注システム	
販売価格見積り精求&簡易査定申込	
以下の全ての項目に必要な事項をご入力いただき、次へのボタンをクリックしてください	
● 本サービスのID/パスワードを既に取得されている方は、以下の入力し、表示ボタンをクリックしてください。一部入力が減減できます。	
ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
<input type="button" value="表示"/>	
(お客様情報)	
・ご氏名	<input type="text"/>
・フリガナ	<input type="text"/>
● 簡易査定を申し込めますか？	
○はい	○いいえ
↓	
<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="次へ"/>

【図29】

個別仕様車見積・発注システム

簡易査定お申込フォーム

・以下のすべての項目をご記入ください。

・無料であなたの愛車を査定し、e-mailで回答致します。

・あくまでもお申し込み頂いた内容での標準状態の価格ですので、参考値としての幅のある価格でしか回答できません。ご了承ください。

・また、この価格で下取りを保証するものではありません。

・正式には、新車ご購入契約時に、下取り車の詳細査定をさせていただきます

● メーカー名	<input type="text" value="V"/>
● 車名	<input type="text"/>
● ボディタイプ	<input type="text"/>
● 排気量	<input type="text"/>
● グレード	<input type="text"/>
● ミッションタイプ	OMT OATO その他
● 燃料	O ガソリン O 軽油 O その他
● 駆動方式	OFF O FR O 4WD O その他
● ドア数	O 2ドア O 3ドア O 4ドア O 5ドア
● ボディカラー	<input type="text"/>
● 初年度登録	平成12年 <input type="text" value="V"/> 年 <input type="text" value="3"/> 月
● 次回車検	平成12年 <input type="text" value="V"/> 年 <input type="text" value="3"/> 月
● 走行距離	<input type="text"/> km (半角数字)
● 事故歴	<input type="text" value="O"/> あり <input type="text" value="O"/> なし

戻る
次へ

【図 30】

個別仕様車見積・発注システム	
<p>会員IDとパスワードを入力の上、 送信ボタンをクリックして下さい。</p> <div><div>会員ID</div><div>パスワード</div><div>送信</div></div>	

【図 3 1】

個別仕様車見積・発注システム

【〇〇〇〇様のご購入検討一覧】

それぞれを情報をクリックすると、詳細をご覧になれます。ご商談申込みは、ご希望のお見積をクリックして表示される見積詳細画面の「商談申込」ボタンにて行うことができます。

お見積一覧

見積ID	見積回答日	車名	エンジン/ミッション	ギア	イグニッション	見積ディーラー
E0031	2001.2.10	車種A(2500cc)	1800/6MT	MT	2400cc	〇〇〇〇
E00157	2001.2.15	車種A(2500cc)	1800/6MT	MT	2400cc	〇〇〇〇
E00382	2001.2.23	車種A(2500cc)	1600/5MT	MT	2400cc	〇〇〇〇

下取り車簡易査定一覧

査定ID	査定回答日	メーカー	車名	エンジン/ミッション	駆動方式	ギア	査定ディーラー
T00032	2001.2.10	〇〇	□□	1600/MT	MR	MT	〇〇〇〇
T00055	2001.2.10	△△	◇◇	1500/AT	FF	MT	〇〇〇〇

駆動方式

クレジット審査一覧 審査：〇〇〇〇社

審査ID	審査回答日	購入合計額	頭金(下取り含む)	支払い回数	審査結果
C00035	2001.2.10	****円	****円	36	OK
C00035	2001.2.10	****円	****円	24	NG

戻る

次へ

【図 3 2】

個別仕様車見積・発注システム																																									
〇〇〇〇 販社見積結果詳細																																									
ご商談申込	見積りに検討																																								
見積仕様確認																																									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 見積No. 1234567 見積回答日: 2000.3.5 見積有効期限: 2000.4.5 見積販社: 関東△△△世田谷営業所 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">● お見積もり 総額 *****円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">■ 車両価格 *****円</td> </tr> <tr> <td>ベースモデル</td> <td>*****円</td> </tr> <tr> <td>185/60R14& allow wheel</td> <td>+*****円</td> </tr> <tr> <td>フォグランプ</td> <td>+*****円</td> </tr> <tr> <td>パワーミラー</td> <td>+*****円</td> </tr> <tr> <td>Red suede synthetic & Nardi leather</td> <td>+*****円</td> </tr> <tr> <td>パワードアロック</td> <td>+*****円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">■ オプション総額 *****円</td> </tr> <tr> <td>シートマット</td> <td>品番 A010 +*****円</td> </tr> <tr> <td>キーホルダー</td> <td>品番 A020 +*****円</td> </tr> <tr> <td>ナンバープレート</td> <td>品番 A050 +*****円</td> </tr> <tr> <td>■ 車両合計</td> <td>*****円</td> </tr> <tr> <td>■ 重量税</td> <td>*****円</td> </tr> <tr> <td>■ 取得税</td> <td>*****円</td> </tr> <tr> <td>■ 自動車税 (2月登録)</td> <td>****円</td> </tr> <tr> <td>■ 消費税</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 自賠責保険 (37ヶ月)</td> <td>*****円</td> </tr> <tr> <td>■ 諸費用</td> <td>*****円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>*****円</td> </tr> </table> </div>		● お見積もり 総額 *****円		■ 車両価格 *****円		ベースモデル	*****円	185/60R14& allow wheel	+*****円	フォグランプ	+*****円	パワーミラー	+*****円	Red suede synthetic & Nardi leather	+*****円	パワードアロック	+*****円	■ オプション総額 *****円		シートマット	品番 A010 +*****円	キーホルダー	品番 A020 +*****円	ナンバープレート	品番 A050 +*****円	■ 車両合計	*****円	■ 重量税	*****円	■ 取得税	*****円	■ 自動車税 (2月登録)	****円	■ 消費税		■ 自賠責保険 (37ヶ月)	*****円	■ 諸費用	*****円	合計	*****円
● お見積もり 総額 *****円																																									
■ 車両価格 *****円																																									
ベースモデル	*****円																																								
185/60R14& allow wheel	+*****円																																								
フォグランプ	+*****円																																								
パワーミラー	+*****円																																								
Red suede synthetic & Nardi leather	+*****円																																								
パワードアロック	+*****円																																								
■ オプション総額 *****円																																									
シートマット	品番 A010 +*****円																																								
キーホルダー	品番 A020 +*****円																																								
ナンバープレート	品番 A050 +*****円																																								
■ 車両合計	*****円																																								
■ 重量税	*****円																																								
■ 取得税	*****円																																								
■ 自動車税 (2月登録)	****円																																								
■ 消費税																																									
■ 自賠責保険 (37ヶ月)	*****円																																								
■ 諸費用	*****円																																								
合計	*****円																																								
ご購入検討一覧に戻る																																									

【図33】

個別仕様車見積・発注システム	
クレジット計算	クレジット計算
クレジット計算	<p>※当該車両は、与信審査の結果がOKであれば、特別低金利〇〇%が適用されます。</p> <p><input type="checkbox"/> お車ご購入総額 購入合計金額(円) <input type="text" value="****"/></p> <p><input type="checkbox"/> 頭金 (下取り査定価格を含む)を簡易査定結果等を参考に入力して 頭金 (下取り金額を含む) (円) <input type="text"/></p> <p><input type="checkbox"/> クレジットご利用元金は クレジット立替元金 (円) <input type="text" value="****"/></p> <p><input type="checkbox"/> お支払い回数をお選びください 支払回数 <input type="text" value="36回"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> お支払い方法をお選びください ポーンズ併用 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ ポーンズ支払月 <input type="text" value="6月"/> <input type="text" value="12月"/> <input checked="" type="text" value="7"/></p> <p>ポーンズ月加算額 (円) <input type="text"/> × 2回(年間)</p>
見積詳細画面	<p>計算実行 <input type="button" value="クリア"/></p>

【図 3 4】

個別仕様車見積・発注システム

クレジット計算結果

お支払い回数	回
クレジット立替元金	円
手数料率(金利)	%
分割払い手数料	円
クレジット総お支払い金額	円
初回お支払い金額	円
毎月のお支払い金額	円× 回
ボーナス月の加算金額	円× 回

★クレジット計算結果は、あくまでの参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

★クレジット利用は、〇〇〇〇で承ります。その際、必ずクレジット審査申込ボタンをクリックし、クレジット審査を申し込んでください。

見積詳細画面

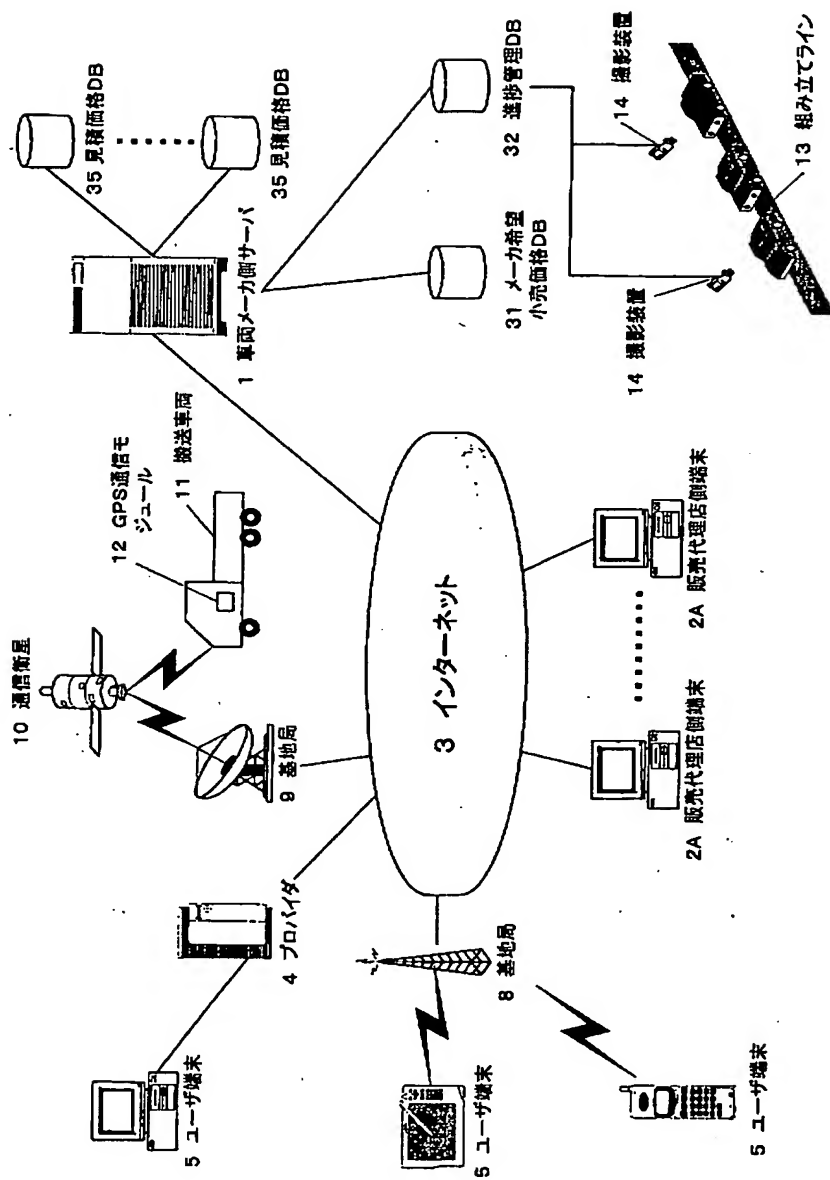
戻る

クレジット審査申込

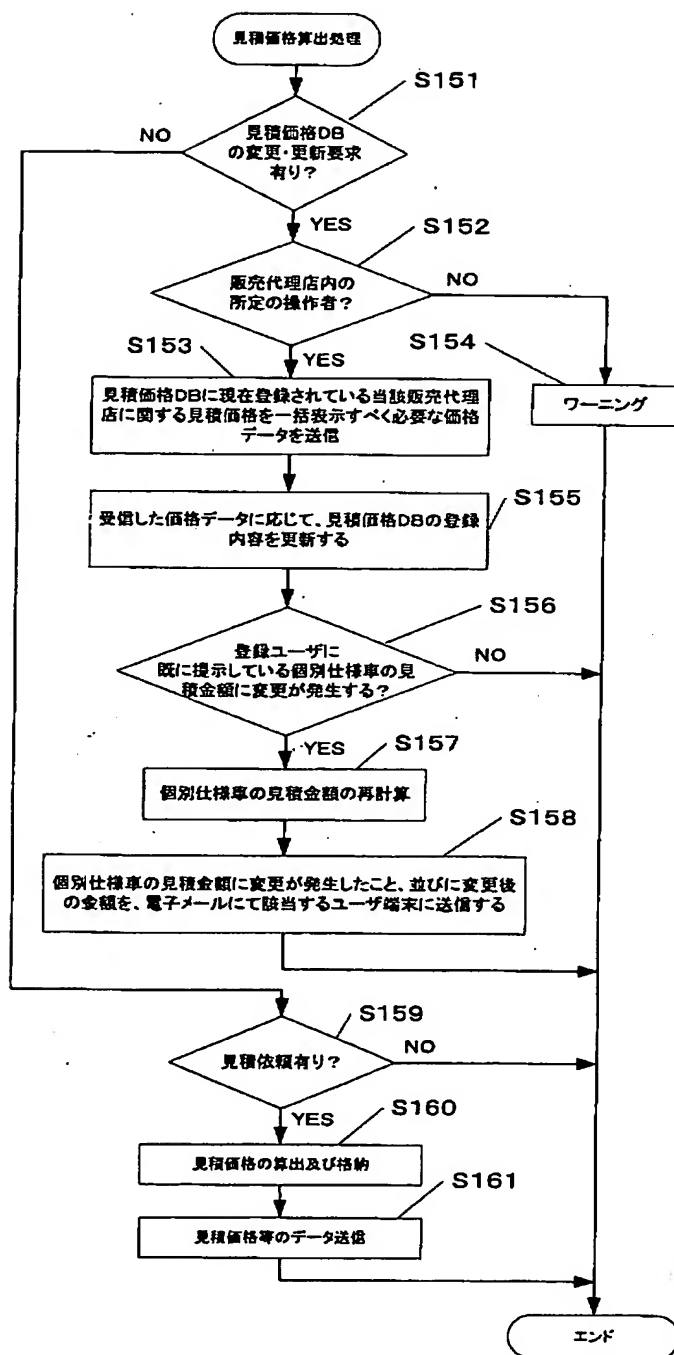
【図 3 5】

<div data-bbox="219 527 264 1005" data-label="Section-Header"> <p>個別仕様車見積・発注システム</p> </div>	
<div data-bbox="313 903 347 1005" data-label="Section-Header"> <p>商談申込</p> </div> <div data-bbox="360 403 410 1005" data-label="Text"> <p>※空欄の箇所を全てご入力いただき、商談予定車種、お客様情報をご確認のうえ、 お申し込みください。</p> </div> <div data-bbox="430 739 464 995" data-label="Text"> <p>● 以下にお答えください</p> </div> <div data-bbox="480 669 514 995" data-label="Text"> <p>□ 下取りの車はございますか？</p> </div> <div data-bbox="514 747 548 947" data-label="Text"> <p>○ ある ○ ない</p> </div> <div data-bbox="586 394 623 968" data-label="Text"> <p>↓ 販売会社での商談時に詳細査定をさせて頂きます。ご了承ください。</p> </div> <div data-bbox="634 392 670 995" data-label="Text"> <p>□ お支払いは特別低金利2.9%プライマスクレジットをご利用になりますか？</p> </div> <div data-bbox="686 564 722 936" data-label="Text"> <p>○ 利用する ○ 利用しない(現金)</p> </div> <div data-bbox="737 541 773 995" data-label="Text"> <p>□ 商談ご希望日はいつが宜しいでしょうか？</p> </div> <div data-bbox="773 575 807 957" data-label="Text"> <p>*本日より6日以降14日以内でも選びください。</p> </div> <div data-bbox="812 661 846 848" data-label="Text"> <p>月 日</p> </div> <div data-bbox="876 466 915 987" data-label="Text"> <p>● お客様の商談予定車種は以下のとおりです。</p> </div> <div data-bbox="980 634 1024 831" data-label="Text"> <p>個別仕様の詳細</p> </div> <div data-bbox="1114 1096 1146 1155" data-label="Text"> <p>戻る</p> </div> <div data-bbox="1114 665 1153 774" data-label="Text"> <p>商談申込</p> </div>	

【図 36】



【図 37】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 メーカーが供給可能な商品仕様の中から、ユーザが所望仕様の商品を容易且つ楽しく選定可能にすると共に、選定された所望仕様の商品の見積価格を、当該ユーザに効率的に提供する。

【解決手段】 車両メーカー側サーバにアクセスしているユーザ端末からの操作により、メーカーが供給可能な商品仕様に関して予め設定された所定の選択肢に従って該端末のユーザが所望仕様の商品を選定すると共に、所望仕様の商品が選定されたとき、或いはその後、当該端末におけるユーザの要求操作が行われたときに、販売代理店が販売可能な見積価格が当該選択肢毎に予め登録されている記憶装置を当該所望仕様に従って参照することにより、その販売代理店が当該所望仕様の商品を販売する場合の見積価格を、車両メーカー側サーバまたは販売代理店側サーバにて算出すると共に、算出した商品単位の見積価格を、当該端末に提供する。

【選択図】 図 2 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003137]

1. 変更年月日	1990年 8月22日
[変更理由]	新規登録
住 所	広島県安芸郡府中町新地3番1号
氏 名	マツダ株式会社